

官報

號外 昭和七年六月十一日

○第六十二回衆議院議事速記第七號

帝國議會

昭和七年六月十日(金曜日)

午後一時三十六分開議

議事日程 第六號

昭和七年六月十日

午後一時開議

第一 傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等
ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法
律案(江藤源九郎君外一名提出)

第一讀會

第二 身元保證ニ關スル法律案(一松
定吉君外四名提出)

第一讀會

第三 利息制限法中改正法律案(一松
定吉君外四名提出)

第一讀會

第四 刑事訴訟法中改正法律案(一松
定吉君外四名提出)

第一讀會

第五 行政執行法中改正法律案(一松
定吉君外四名提出)

第一讀會

第六 嫡出子又ハ庶子ニ非サル子ノ名
稱ニ關スル法律案(一松定吉君外五
名提出)

第一讀會

第七 計量士法案(一松定吉君外四名
提出)

第一讀會

第八 度量衡法中改正法律案(一松定
吉君外四名提出)

第一讀會

第九 明治四十一年法律第三十七號中
改正法律案(地方税制限ニ關スル件)
(岡田忠彦君外二十四名提出)

第一讀會

第十 敦賀清津又ハ雄基間聯絡特急航
路開始ニ關スル建議案(熊谷五右衛
門君外一名提出)

第一讀會

官報號外

昭和七年六月十一日

衆議院議事速記第七號 議長ノ報告

第十一 帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル
建議案(寺田正君外二名提出)

第十二 伊集院橋間鐵道敷設ニ關ス
ル建議案(寺田正君外二名提出)

第十三 熱海線丹那隧道西口ニ停車場
設置ニ關スル建議案(仁田大八郎君
提出)

第十四 三陸沿岸鐵道速成ニ關スル建
議案(小野寺章君外十名提出)

第十五 白石中村間鐵道敷設ニ關スル
建議案(佐々木家壽治君外六名提出)

第十六 國分川北間鐵道速成ニ關スル
建議案(崎山武夫君外五名提出)

第十七 東北本線尻内下田間ヲ八戸經
山ニ變更ニ關スル建議案(藤井達也
君提出)

第十八 癌研究會事業補助ニ關スル建
議案(岡田忠彦君提出)

第十九 衛生組合法制定ニ關スル建議
案(西岡竹次郎君外四名提出)

第二十 大仙神社創建ニ關スル建議案
(樋口典常君外一名提出)

第二十一 內地臺灣間航空輸送開始ニ
關スル建議案(永田良吉君提出)

第二十二 鹿兒島縣鹿屋飛行場ニ陸海
軍飛行隊設置ニ關スル建議案(永田
良吉君提出)

第二十三 佐世保鎮守府海軍病院附屬
療養所設置ニ關スル建議案(佐保畢
雄君外四名提出)

第二十四 計理士法中改正ニ關スル建
議案(中井一夫君提出)

第二十五 稅務代理人法制定ニ關スル
建議案(中井一夫君提出)

第二十六 事務官身分保障ニ關スル建
議案(清瀬一郎君提出)

第二十七 貴衆兩院議員航空輸送優遇
ニ關スル建議案(永田良吉君提出)

第二十八 官公學獨立經營ニ關スル建
議案(加藤知正君外二名提出)

第二十九 養蠶業組合ニ對シ國庫助成
金交付ニ關スル建議案(加藤知正君
外二名提出)

第三十 藪價安定補償法制定ニ關スル
建議案(加藤知正君外二名提出)

第三十一 養蠶應急資金償還期限延期
ニ關スル建議案(加藤知正君外一名
提出)

○議長(秋田清君) 諸般ノ報告ヲ致サセマ
ス

(書記官朗讀)
一議員ノ異動左ノ如シ
長崎縣第一區選出議員志波安一郎君死去
セラレタリ
一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
土地工作物愛護法案
提出者

荒川 五郎君 原 夫次郎君
一松 定吉君
大正十五年法律第五十二號中改正法律案
(土地區劃整理ニ伴フ清算金等ニ關スル件)
提出者

安藤 正純君 國枝枝次郎君
伊藤仁太郎君 立川 太郎君
中野勇治郎君 高橋 義次君
本田 義成君 松永 東君
磯部 尙君
利息制限法中改正法律案
提出者

森田 福市君 土井 權大君
助川啓四郎君 喜多 孝治君
鷺野米太郎君 田村 實君

民法中改正法律案
提出者

土井 權大君 喜多 孝治君
助川啓四郎君 鷺野米太郎君
田村 實君 森田 福市君

商法中改正法律案
提出者

土井 權大君 喜多 孝治君
助川啓四郎君 鷺野米太郎君
田村 實君 森田 福市君

商法施行法中改正法律案
提出者

土井 權大君 喜多 孝治君
助川啓四郎君 鷺野米太郎君
田村 實君 森田 福市君

國民警察法制定ニ關スル建議案
提出者

荒川 五郎君 戶井 嘉作君
一松 定吉君

青年教育振興ニ關スル建議案
提出者

荒川 五郎君 原 夫次郎君
一松 定吉君

澱川低水工事改良修築ニ關スル建議案
提出者

田中祐四郎君 本田彌市郎君
秋刀魚漁期制限ニ關スル建議案
提出者

石炭輸送鐵道運賃引下ニ關スル建議案
提出者

中井川 浩君 比佐 昌平君
那珂湊漁港修築費國庫補助ニ關スル建議
案
提出者

境港北鮮間直通航路開始ニ關スル建議案
提出者

矢野 晋也君 豐田 收君
山根 儀重君 由谷 義治君

東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所
獨立ニ關スル建議案

提出者

山下 谷次君 加藤 知正君

增田 義一君 山根 儀重君

荒川 五郎君

福島縣松川浦漁港修築費國庫補助ニ關スル建議案

提出者

佐藤庄太郎君 鈴木辰三郎君

平小名濱間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者

佐藤庄太郎君 鈴木辰三郎君

郡山水戸間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者

小島 知善君 佐藤庄太郎君

助川啓四郎君

(以上六月九日提出)

境港ヲ臺灣砂糖移入港ニ指定ニ關スル建議案

提出者

矢野 晋也君 青木雷三郎君

鳥取高等農業學校ニ林學科併置ニ關スル建議案

提出者

矢野 晋也君 青木雷三郎君

米子市ニ鐵道局設置ニ關スル建議案

提出者

境港ニ獸類檢疫所設置ニ關スル建議案

提出者

矢野 晋也君 青木雷三郎君

大山ヲ中心トスル國立公園指定ニ關スル建議案

提出者

矢野 晋也君 青木雷三郎君

國民精神作興ニ關スル建議案

提出者

矢野 晋也君 青木雷三郎君

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

河野通治閣位奏請ニ關スル質問主意書
提出者

(以上六月九日提出)

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲
茲ニ掲載ス〕

一昨九日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議
長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

二二九 平島 敏夫君

二四六 杉本國太郎君

四四二 大本貞太郎君

四六一 松村 光三君

一昨九日辭任シタル常任委員左ノ如シ

第四部選出請願委員 永田 良吉君

一昨九日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如
シ

手形法案(政府提出、貴族院送付)委員

春名 成章君 廣瀬 爲久君

山田 又司君 沼田嘉一郎君

西村 茂生君 藏國三四郎君

中野勇治郎君 龜山 秀夫君

岸田 正記君 太田 正孝君

伊豆 富次郎君 荒川 五郎君

內藤 正剛君 松田 正一君

中央卸賣市場法中改正法律案(土倉宗明
君提出)委員

牧野 良三君 土倉 宗明君

大野 伴陸君 中村 嘉壽君

中島知久平君 宮澤 清作君

海野 數馬君 柳田宗一郎君

川橋豐治郎君

一昨九日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
關稅定率法中改正法律案(政府提出)外一
件委員

辭任高橋熊次郎君 補關今井 健彦君

柳河軌道株式會社所屬軌道補償ノ爲公債
發行ニ關スル法律案(政府提出)委員

辭任佐保 畢雄君 補關熊谷五右衛門君

辭任小島 智善君 補關 助川啓四郎君

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲
事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關
スル件)(政府提出)外四件委員

辭任高橋熊次郎君 補關松實喜代太君

辭任壽原英太郎君 補關林 路一君

絲價安定融資擔保生絲買收法案(政府提
出)外一件委員

辭任大石 倫治君 補關助川啓四郎君

○議長(秋田清君) 是ヨリ會議ヲ開キマ
ス、只今御報告致シマシタ通り、議員志波
安一郎君ハ本日逝去セラレマシタ、洵ニ痛
惜哀悼ノ至ニ堪ヘマセヌ、此際牧山耕藏君
ヨリ發言ヲ求メテ居ラレマス——牧山耕藏
君

○牧山耕藏君登壇

ナリマシタ故衆議院議員志波安一郎君ニ對
シ、院議ヲ以テ茲ニ弔辭ヲ呈スルコトヲ發
議致シタイト思フノデアリマス、其弔辭ノ
起草ハ議長ニ一任致シタイト思ヒマス、此
動議ヲ提出致シマス、而シテ此際私ハ諸君
ノ御許シヲ得マシテ、議員一同ヲ代表致シ
マシテ、故志波安一郎君ニ一言ノ御弔詞ヲ
申述ベタイト思フノデアリマス

志波安一郎君ハ、明治六年九月長崎縣南
高來郡神代村ニ御出生ニナリマシテ、第三
高等學校ニ學バレ、京釜鐵道株式會社社員、
數寄屋銀行神代支店長、長崎縣農工銀行監
査役ヲ歷任サレ、三度長崎縣會議員、同參
事會員ニ舉ゲラレマシテ、現ニ肥前銀行ノ
顧問デアラレマシタ、大正十三年五月、衆
望ヲ負ウテ長崎縣第四區ヨリ選出セラレテ
衆議院議員トナリ、爾來引續キ當選セラレ、
國家憲政ノ爲メ多大ノ貢獻ヲサレタルコト
ハ、諸君御承知ノ通りデアリマス、不幸ニ
シテ本日午前五時逝去致サレマシタルコト
ハ、洵ニ痛惜哀悼ノ至ニ堪ヘマセヌ、茲ニ
謹デ故人ノ靈ニ對シテ哀悼ノ意ヲ表スル次
第デアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 牧山君ノ提出セラレマ
シタル動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ議長ノ手許ニ於テ起草致シマシタ
ル弔辭ヲ朗讀致シマス

衆議院ハ議員志波安一郎君ノ長逝ヲ哀悼
シ恭シク弔辭ヲ呈ス

此贈呈方ハ議長ニ於テ取計ヒマス——日程

第一、傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵
道船舶等乘車船便遇ニ關スル法律案ノ第一
讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シ
マス——提出者江藤源九郎君

第一 傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等
ノ鐵道船舶等乘車船便遇ニ關スル法
律案(江藤源九郎君外一名提出)

第一讀會

傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道
船舶等乘車船便遇ニ關スル法律案

第一條 本法ニ於テ鐵道トハ國有鐵道一
般交通ノ用ニ供スル地方鐵道及軌道並
南滿洲鐵道株式會社所屬ノ鐵道ヲ謂ヒ
自動車トハ一般交通ノ用ニ供スル爲路
線ヲ定メ定期ニ運行シテ旅客ヲ運送ス
ル自動車ヲ謂フ

第二條 本法ニ於テ船舶トハ一般交通ノ
用ニ供スル爲航路ヲ定メ定期ニ航行シ
テ旅客ヲ運送スル船舶ニシテ命令ヲ以
テ指定スルモノヲ謂フ

第三條 傷痍軍人ハ命令ノ定ムル所ニ依
リ增加恩給受給者及一時賜金受給者中
症狀重キ者ニ在リテハ無賃運賃輕キ者
ニ在リテハ旅客運賃ノ五割引ニテ鐵道
及自動車ニ乘車スルコトヲ得

第四條 戰公傷病死者ノ遺族ハ命令ノ定
ムル所ニ依リ靖國神社大祭若ハ招魂祭
ニ參拜ノ爲又ハ遺骨ノ出迎受領等ノ爲
旅行スルトキハ其ノ往復ニ限リ無賃又
ハ旅客運賃ノ五割引ニテ鐵道及自動車
ニ乘車スルコトヲ得

第五條 傷痍軍人及戰公傷病死者ノ遺族

ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第六條 現役兵(未入營及歸休兵ヲ除ク)及召集中ノ兵ハ命令ノ定ムル所ニ依リ父母妻子病氣危篤又ハ死亡ノ爲旅行スルトキハ其ノ往復ニ限り無償ニテ鐵道又自動車ニ乗車スルコトヲ得

第七條 左ノ掲クル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客運賃ノ五割引ニテ鐵道及自動車ニ乗車スルコトヲ得
一 現役ノ下士官兵(未入營及歸休兵ヲ除ク)
二 召集中ノ下士官兵
三 入營スル現役兵又ハ退營スル下士官兵
四 召集ニ應スル爲之カ解除ノ爲又ハ簡閱點呼ニ參會スル爲旅行スル在郷軍人
五 帝國在郷軍人會ヲ監督スル陸海軍官憲ノ命ヲ受ケ旅行スル在郷軍人

第八條 第三條第四條第六條及第七條ニ掲クル者船舶ニ依リ旅行スル場合ニ於テ本法ノ規定ニ依リ無償ニテ乗車シ得ル旅行ニ相當スルトキハ旅客運賃ノ五割引、五割引運賃ニテ乗車シ得ル旅行ニ相當スルトキハ旅客運賃ノ二割引ニテ乗船スルコトヲ得

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
〔江藤源九郎君登壇〕

○江藤源九郎君 本案ハ國家社會ノ犧牲トナツタ傷病軍人、戰公傷病死者遺族及現役下士官兵、並ニ召集等ヲ受ケタル在郷軍人ノ一部ニ對シテ、優遇ノ目的ヲ以テ、鐵道軌道及限定セル範圍ニ於ケル近海航路ノ船舶並ニ自動車ニ、無償又ハ割引ニテ乗車セシメントスル法律案デアリマシテ、其實施ハ勅令ヲ以テ定メルデアリマス、此種ノ優遇ハ現在既ニ或ル程度マデニ實施セラレ、又過般兵役義務者及殘兵優遇審議會ニ於テ研究決議ノ上、政府ニ對シ答申セラレタ次第

官報號外 昭和七年六月十二日 衆議院議事速記第七號 身元保證ニ關スル法律案外六件 第一讀會

モアリマスルノデ、關係各省ニ於テモ、ソレゾ銳意實現ニ努力セラレテ居ルコト、信ジマスガ、爾後世態事情ノ變化モアリマスルノデ、大體ニ於テ前述審議會ノ研究ヲ基礎トシ、速ニ之ヲ實行ニ移スコトガ最モ緊急ト存ジマシテ、本案ヲ提出シタ次第デアリマス、細部ニ互リマシテハ、委員會デ說明スルコトニ致シマシテ、只今ハ重要ナル事項ニ付テ、若干説明ヲ申上ゲテ、御同情ヲ御願シタイト存ジマスルノデアリマス

第一ニ從來ハ一時賜金癡兵ニ對シマシテハ、何等優遇セラレテ居ラナカッタノデアリマス、ソレヲ今同加ヘタノデアリマス、一時賜金癡兵ハ同ジク癡兵デアリナガラ、増加恩給癡兵ニ對シマシテ、非常ニ差別待遇ヲ受ケテ居ルノデアリマス、例ヘバ一眼ノ視力ガ視標〇・一ヲ一ノ眼ノ大キナノデアリマス、ソレヲ五十種以上離レテ判別ノ出來ナイ者ハ、增加恩給ノ第五公傷ニナツテ居リマシテ、一等兵デ年額五百四十圓ノ恩給ヲ受ケテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテ一眼ノ視力ガ、同ジ視標〇・一ヲ二ミ以上離シテ辨別スルコトノ出來ナイ者ハ、一時賜金ニ於テ一等兵デハ僅ニ良一方デ、所謂高給デス、ソレデ二百二十圓ヲ一回限リ賜ハルノデアリマス、此差別待遇ハ、近ク恩給法ノ改正其他ノ便法ニ依リマシテ、匡正セラレ、コトニナツテ居リマスノデ、本法ニ於テモ亦優遇ノ途ヲ講ジタノデアリマス、又現行法ノ如ク、兩足ノナイ癡兵ヲ三等車ニ乗車セシメルコトハ、優遇ニアラズシテ、寧ロ虐待ノ嫌ガアルト思フノデアリマス、ソレデ是等ヲ二等車ニ改メタノデアリマス、次ハ遺族ニ付テハアリマスガ、今回ノ滿洲事變ニ當リマシテハ、不文律デ優遇セラレテ居ルノデアリマスルカラ、此際之ヲ少シク擴張シ、又此種ノ優遇ハ事變ノ時ノミデナク、是非平時デモ斯クアリタイト思フノデ、本法ニ加ヘタノデ

アリマス、次ハ兵役義務者ニ付テハアリマスガ、從來入營中ノ義務兵デ、父母妻子ノ病氣危篤又ハ死亡ノ際ニ、歸郷等ヲ致シマスル場合ニハ、自費ヲ以テ旅行ヲスルノデアリマス、是等ハ洵ニ氣ノ毒デアリマスルカラ、是等ニ對シマシテハ、是非無償デ乗車ヲセシメテ、幾分ナリトモ弔慰ノ情ヲ表ハシ、且ツ其負擔ヲ輕減シタイト思フノデアリマス、入營又ハ應召スル者、並ニ簡閱點呼ニ參會スル者等ニハ、此種ノ特典ガナインノデ、色々不平ノ聲ヲ聞イテ、洵ニ御尤ダト思フノデアリマス、是等ニ對シテハ割引乗車ノ途ヲ開イタノデアリマス、次ハ汽船デアリマスルガ、從來不文律デ色々優遇ヲサレテ居ルノデアリマスルガ、汽船ハ汽車ト異ナリマシテ、食費モ含ンデ居リマスルガ故ニ、無償ト云フコトハ出來マセヌカラ、汽車ノ無償ノ場合ハ五割引、五割引ノ場合ハ二割引ト致シタノデアリマス、要スルニ本法ハ從來ヨリモ一層優遇ノ途ヲ擴ゲ、以テ國民ガ國家ノ爲ニ犧牲的ニ奉公シタ遺族、傷病軍人、兵役義務者等ニ對シ、衷心ヨリ謝意ヲ表スル意味ヲ具體化シタノデアリマス

本案ハ右ノ趣旨ヲ一部達成シ、而モ政府及鐵道、軌道、船舶、自動車業者ノ受クル影響ハ、敢テ大デハナイノデアリマス、何トナレバ癡兵等ガ慰安ノ爲ニ旅行致シマスル時ハ、多クハ一人デ行クノデアリマセヌ、妻子等ヲ伴フテ行クノデアリマスカラ、此點ハ增收ヲ來スノデアリマス、又割引ヲ致シマスル結果ハ、寧ロ乗客ヲ増スコトニナル場合モ少クナイノデアリマスカラ、此法案ヲ提出致シマスルコトハ、極メテ時勢ニ適合シテ居ル措置ダト信ジテ居ルノデアリマス

尙ホ最後ニ一言附加ヘマシテ御同情ヲ仰ギタイト思ヒマスルコトハ、現今ノ社會狀態ハ、完全ナル體格ヲ持テ居ル者デモ、其生活ハ容易デナイノデアリマス、デアリマ

スルカラ人並ニ働ケナイ所ノ謂ハハ片輪者ヤ、或ハ働キ手ヲ失フ遺族等ガ、大ニ困リテ居ルコトハ申スマデモナイコト、存ジマス、殊ニ是等傷病軍人遺族及在郷軍人ノ多クハ、國民中デ最モ困リテ居ル農民ガ非常ニ多イノデアリマスカラ、何卒本法ノ一日モ速ニ實施セラレルヤウニ、御配慮ヲ御願シタイト思フノデアリマス、昨年一松君カラ提出セラレマシタル癡兵優遇法案モ、衆議院ハ通過致シタノデアリマスルガ、貴族院ニ於テ擱リ潰シナツタノデアリマス、ドウカ本案ノ速ニ實施サレマスルヤウニ、御贊成ヲ賜ランコトヲ切ニ御願致シマス(拍手)
○議長(秋田清君) 本案ニハ質疑ノ通告ハアリマセヌ
○上田孝吉君 本案ハ永田良吉君外一名提出、航空省設置ニ關スル建議案外一件ノ委員會ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス
○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(秋田清君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタリ一日程第二乃至第八八便宜上一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第二、身元保證ニ關スル法律案、第三、利息制限法中改正法律案、第四、刑事訴訟法中改正法律案、第五、行政執行法中改正法律案、第六、嫡出子又ハ庶子ニ非サル子ノ名稱ニ關スル法律案、第七、計量士法案、第八、度量衡法中改正法律案、右七案ヲ一括シテ其第一讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——一松定吉君
第二 身元保證ニ關スル法律案(一松定吉君外四名提出) 第一讀會
第三 利息制限法中改正法律案(一松定吉君外四名提出) 第一讀會

第四 刑事訴訟法中改正法律案（一松定吉君外四名提出） 第一讀會

第五 行政執行法中改正法律案（一松定吉君外四名提出） 第一讀會

第六 嫡出子又ハ庶子ニ非サル子ノ名稱ニ關スル法律案（一松定吉君外五名提出） 第一讀會

第七 計量士法案（一松定吉君外四名提出） 第一讀會

第八 度量衡法中改正法律案（一松定吉君外四名提出） 第一讀會

身元保證ニ關スル法律案

第一條 引受人、保證人其ノ他名稱ノ如何ヲ問ハス期限及金額ヲ定メシテ被用者ノ行為ニ因リ使用者ノ受ケタル損害ヲ賠償スルコトヲ約スル身元保證契約ハ其ノ成立ノ日ヨリ二年間效力ヲ有ス但シ商業見習者ノ身元保證ニ付テハ之ヲ五年トス

第二條 不相應ナル長キ期限又ハ契約ノ際ニ於ケル各當事者ノ資力及被用者ノ位置ニ相當セサル巨大ノ金額ハ之ヲ期限及金額ノ定メナキモノト看做ス

第三條 左ノ場合ニ於テ使用者ハ遲滞ナク身元保證人ニ通知スヘシ若此ノ通知ヲ怠リタルトキハ其ノ以後ニ於ケル被用者ノ行為ニ付身元保證人ニ對スル賠償請求權ヲ失フ

一 被用者ニ身元保證人ノ責任トナルヘキ行為アルコトヲ知リタルトキ

二 被用者ノ任務又ハ任地ヲ變更シ之カ爲身元保證人ノ責任ヲ加重シ又ハ其ノ監督ヲ困難ナラシムルトキ

第四條 身元保證人前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ將來ニ同テ解約ノ申入ヲ爲スコトヲ得若即時此ノ申入ヲ爲ササルトキハ解約ノ權利ヲ失フ

第五條 本法ノ規定ニ反スル契約ハ總テ無効トス

利息制限法中改正法律案

第二條中「裁判上無効ノモノトシ」ヲ「法律上無効ノモノトシ」ニ改ム

第四條中「裁判上無効ノ者トス」ヲ「法律上無効ノモノトス」ニ改ム

第六條 何等ノ名目ヲ以テスルヲ問ハス本法ノ趣旨ニ違及シ交付セル金錢ハ之カ返還ヲ請求スルコトヲ得

第七條 常習トシテ他人ノ窮迫狀態、思慮淺薄又ハ無經驗ニ乘シ利息、禮金、棒利、手数料其ノ他何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス給付ニ比シテ著ク權衡ヲ失スル不當ノ利益ヲ得タル者ハ六月以下ノ懲役若ハ三千圓以下ノ罰金又ハ之ヲ併科ス

刑事訴訟法中改正法律案

第五十六條ノ二 被告人、被疑者、證人、鑑定人、通事又ハ翻譯人ヲ訊問スル場合ニ於テ是等關係者ノ請求アリタルトキハ裁判所書記ノ作成スル調書ハ速記ノ方法ニ依ルヘシ

前項ノ場合ニ於テハ裁判所書記ヲシテ速記ヲ翻譯セシメタル後之ヲ供述者ニ讀聞カサシメ又ハ供述者ヲシテ之ヲ閱覽セシムヘシ

連記ノ爲ニ要スル費用ハ請求者ノ負擔トシ其ノ金額ヲ豫納セシムヘシ

前項ノ費用ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

行政執行法中改正法律案

第一條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ第二項中「前項」ヲ「第一項」ニ改ム

釋放シタル被檢束者ヲ同一事由ヲ以テ再ヒ檢束スルコトヲ得ス

嫡出子又ハ庶子ニ非サル子ノ名稱ニ關スル法律案

嫡出子又ハ庶子ニ非サル子ハ之ヲ母ノ子ト稱ス

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

他ノ法令中私生子トアルハ之ヲ母ノ子トス

戸籍ノ記載ニシテ私生子トアルハ母ノ子ト訂正セラレタルモノト看做ス但シ其ノ記載ヲ更正スルコトヲ妨ケス

計量士法案

第一條 本法ニ於テ計量士ト稱スルハ度量衡器、計量器又ハ之ニ依ル計量若ハ商品量目ノ検査調査鑑定又ハ證明ヲ爲スヲ業務トスル者ヲ謂フ

第二條 左ノ條件ヲ具フル者ハ計量士タル資格ヲ有ス

一 帝國臣民又ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ外國ノ國籍ヲ有スル者ニシテ私法上ノ能力者タルコト

二 計量士試験ニ合格シタルコト

計量士試験ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ計量士試験委員ノ詮衡ニ依リ第二條第一項第二號ノ規定ニ拘ラス計量士タル資格ヲ有ス

一 大學令ニ依ル大學ニ於テ物理學又ハ機械學ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者以上ノ學力ヲ有スル者ニシテ一年以上上度量衡ニ關スル實務ニ從事シタル者

二 專門學校令ニ依ル專門學校ニ於テ機械學ヲ修メ之ヲ卒業シ三年以上上度量衡ニ關スル實務ニ從事シタル者

三 商工省ニ於ケル度量衡講習ヲ終了シ五年以上上度量衡ニ關スル實務ニ從事シタル者

四 七年以上上專ラ度量衡器及計量器ノ檢定又ハ取締ノ事務ニ從事シタル者

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ計量士タル資格ヲ有セス

一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者但シ二年未滿ノ懲役若ハ禁錮ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行ヲ終リ若ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル日ヨリ起算シ三年ヲ經過シタル者

又ハ陸軍刑法若ハ海軍刑法ニ依リ一年未滿ノ禁錮ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

二 第十一條ノ罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタル者又ハ度量衡法ニ依リ百圓以上ノ罰金ニ處セラレタル者但シ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル日ヨリ起算シ三年ヲ經過シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

三 破産者ニシテ復權セサル者

第五條 計量士タル資格ヲ有スル者ハ計量士名簿ニ登錄ヲ受クヘシ

計量士ノ登錄ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

計量士ハ其ノ業務ニ關シ計量士ノ稱號ヲ用ウヘシ

第六條 計量士ハ商工大臣ノ監督ニ屬ス

第七條 計量士タル資格ヲ有セスシテ計量士ノ業務ヲ行ヒタル者ハ一月以上ノ懲役又ハ五百圓以上ノ罰金ニ處ス

第八條 計量士タル資格ヲ有スルモ其ノ登錄ヲ受ケシテ計量士ノ業務ヲ行ヒタル者ハ五十圓以上ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ付之ヲ準用ス

第九條 計量士本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ又ハ品位ヲ失墜スヘキ行為若ハ業務上不正ノ行為アリタルトキハ商工大臣ハ計量士懲戒

委員會ノ議決ニ依リ之ヲ懲戒ス
計量士懲戒委員會ニ關スル事項ハ勅令
ヲ以テ之ヲ定ム
第十條 計量士ノ懲戒處分ハ左ノ四種ト
ス

- 一 譴責
 - 二 千圓以下ノ過料
 - 三 一年以內計量士ノ業務ノ停止
 - 四 計量士ノ登録ノ抹消
- 前項第二號ノ過料ヲ完納セサルトキハ
商工大臣ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス
非訟事件手續法第二百八條ノ規定ハ
前項ノ規定ニ依ル執行ニ付之ヲ準用
ス

第十一條 計量士又ハ計量士タリシ者故
ナク其ノ業務上取扱ヒタル事項ニ付知
得シタル秘密ヲ漏泄シ又ハ竊用シタル
トキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ
罰金ニ處ス
前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
本法施行ノ際引續キ一年以上度量衡器、
計量器又ハ之ニ依ル計量若ハ商品量目ノ
検査、調査、鑑定又ハ證明ノ實務ニ從事
シタル者ハ本法施行ノ日ヨリ六月以內ニ
出願シタルトキニ限り第二條第一項第二
號ノ規定ニ拘ラス計量士試験委員ノ詮衡
ヲ經テ計量士タル資格ヲ有ス

度量衡法中改正法律案

度量衡法中左ノ通改正ス
第九條ノ二 計量士ノ行フ検査、調査ニ
係ル使用中ノ度量衡器又ハ之ニ依ル計
量若ハ商品量目ニ付テノ検査及取締ハ
之ヲ省略ス
前項ノ検査及取締ニ關スル事項ハ命令
ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
(一松定吉君登壇)

○一松定吉君 只今上程セラレマシタ日程
第二乃至第八ニ對シマシテ、順次提案理由
ノ辯明ヲ致スコトニ致シマス
第一ハ身元保證ニ關スル法律案デアリマ
シテ、本案ハ御承知ノ如ク身元保證ヲ致シ
タ場合ニ、當事者間ニ特別ノ約束ヲ致シマ
シテ、其期限ノ經過ニ依リテ責任解除ト云
フヤウナ特別ノ場合ハ、是ハ必要ナインデ
ゴザイマスガ、身元保證ヲ致シマス場合
ハ、多ク其保證ノ期間ヲ當事者間ニ定メナ
イノガ普通デアリマスル、斯様ナ場合ニ、
其身元保證ノ期間ガナイ結果、幾年經過致
シマシテモ、其責任ガ身元保證ヲ致シタ人
ニ附纏ヒマスル結果、自分ガ身元保證ヲシ
タコトヲ忘レテ居ルヤウナ時ニ、其保證セ
ラレマシタ人ノ不法行為等ニ原因ヲ致シマ
シテ、損害賠償ノ責任ニ任ゼバナラヌト云
フヤウナ實例ガ非常ニ多イノデアリマシ
テ、隨分之ニハ困リタ人々ノ多イコトヲ、私
共ハ能ク承知致シテ居リマス、故ニ斯様ナ
ル弊害ヲ排除ク意味ニ於キマシテ、身元保
證ニ期限ヲ付シテ居ナイヤウナ場合ニ、法
律ヲ以テ一定ノ期間經過致シマシタ時ニ、
其責任ヲ消滅セシムルト云フ規定ヲ設ケマ
シテ、其身元保證ヲ致シマシタ人ノ責任ヲ
解除スルト云フコトハ、最も必要ナルコト
デアアルノデゴザイマス、其意味ニ於テ本案
ヲ提出致シタノデアリマス、是ハ曩ニ第四
十四議會並ニ五十九議會ニ於キマシテ、衆
議院ハ通過シテ、貴族院ニ於テ審議未了ニ
終リタ案デアリマス、ドウゾ十分慎重ニ御
審議相成リマシテ、無事ニ通過致シマスル
ヤウニ、御協賛ヲ御願致シテ已マナイノデ
アリマス

第三ノ利息制限法中改正法律案、是ハ御
承知ノ如ク利息制限法ニハ千圓マデノ貸借
關係ノ場合ニハ、利息ヲ一割二分ダケ請求
スルコトガ出來ル、千圓以上ニナリマスル
ト、一割ヲ超過スルコトハ出來ナイ、斯様
ナ取締ノ規定ヲ致シテアルニ拘リマセ
ズ、金貸ガ往々ニシテ此法定ノ制限ヲ超過
致シマシテ、手数料、更新、前利、棒利ト
云フヤウナ名稱ノ下ニ、非常ナ多額ノ金額
ヲ天引スルヤウナコトガアルノデゴザイマ
ス、斯ウ云フヤウナ弊害ヲ妨ギマセスト、
金ヲ借りタ爲ニ、日夜營業トシテ勤勞ニ従
事致シマシテモ、終世此債務ノ支拂ヲスル
コトガ出來ズシテ、利息ノ爲ニ追ハレテ云
フヤウナコトハ、社會政策ノ上カラ考ヘテ
見マシテモ、是ハ矯正シナケレバナリマセ
ス、法定ノ利息ハ御承知ノ如ク民法ニ於テ
八年五厘デアリマス、商法ニ於テ八年六厘
ニ規定セラレテ居ルニ拘ラズ、常ニ脱法的
行為ヲ以テ良民ヲ苦シメタルコト云フコトガ、
金貸ノ弊害デアリマスルカラシテ、之ヲ救
濟スル意味ニ於キマシテ、利息制限法ノ率
ヲ超過シテ、色々ナ名稱デ債務者カラ金ヲ
取立テマスルコトヲ、法律ノ力ニ依リテ之ヲ
制限シ、若シ其制限ヲ超過シテ、尙且ツ利息
ヲ徵收致シマシタ場合ニハ、只今ノ法律ニ
依リマスルト、裁判所ニ請求ヲシタ場合ノ
ミガ制裁ヲ受ケテ、之ヲ無効ト看做サレ
ルノデアリマスガ、本案ハ裁判所ニ請求シ
タコトモ、法律上當然無効デアルト致シマ
シテ、此債務者ヲ保護スルト云フ趣旨ノ規定
デアリマス、是非御協賛ヲ御願致シタイ
ノデアリマス

日程第四ノ刑事訴訟法中改正法律案ハ、
是ハ今日警察及檢察、豫審判事等カラ取調
ヲ受ケマス被告、被疑者證人等ガ、自
分ノ言ハナイコトヲ調書ノ上ニ記載セラレ
テ居ルガ爲ニ、全ク無實ノ罪ヲ著ルノデア
ルト云フヤウナ實例ガ、殆ド毎日ノヤウニ
裁判所ノ公判庭ニ現ハレテ居ルノデアリマ
ス、斯ノ如キコトハ、所謂其中立ヲ致シマ
スル者ガ、自分ノ申立テヲ趣旨ト違フコ
トガ、聽取書若クハ調書ノ上ニ現ハレテ居
ル爲ニ、漏ス所ノ不平ノ言葉デアリマス、
故ニ斯様ナコトノ結果、其認メザル所ノ供
述ニ依リマシテ、是ガ證據ニナリテ自分ガ罰
セラレタルコト云フガ如キコトハ、聖代ノ不祥事
デアアルバカリデアリマセヌ、裁判ノ威信ヲ
傷クルコトガ實ニ多大デアルト私共ハ考
ヘテ居ルノデアリマス、故ニ斯ノ如キ弊害
ヲ防止致シマスル爲ニハ、其調ベラレテ居
ル者ガ、今私ノ申上グルコトヲ速記ノ方法
ニ依リテ記載ヲ願ヒタイト申出ラスレバ、
裁判所書記ハ速記ノ方法ニ依リテ調書ヲ作
成スルト云フコトニ致シマスレバ、豫審判
事、檢察、其他取調ヲ致シマスル人ガ、不
用意ニ詐術ヲ用ヒ、或ハ脅迫ノ言辭ヲ弄
スルコトヲ防グコトガ出來ルバカリデアリ
マセヌ、申立テタ人ガ、其申立テタコトガ
悉ク調書ノ上ニ現ハレマスル結果、公判庭
ニ於テ自分ノ言ハナイコトヲ記載シタル
アル、言ハナイコトガ記録ノ上ニ載リテ居
ルノデアルト云フガ如キ遁辭ヲ以テ、其調
書ノ效力ヲ否認スルコトガ出來ナイヤウニ
ナルノデアリマシテ、是ハ裁判ノ公平、裁判
ノ信用ヲ維持スル上ニ於テ、最も必要ナル事
柄ト私ハ確信致シテ居ルノデアリマス、ド
ウカ是等ノ趣旨ヲ十分御興味遊バシマシ
テ、是非御協賛アラント御願致シテ已ミ
マセヌ

日程第五ノ行政執行法中改正法律案、御
承知ノ如ク警察官ガ人権ヲ蹂躪致シマスル
コトヲ防止スル所ノ、彼ノ違警罪即決例ノ
一部改正ハ、皆様ノ御協賛ヲ得マシテ、既
ニ是ガ改正セラレテ、實施セラレテ居リマ
スル結果、警察官ガ人民ニ對シテ無辜ノ罪
ノ者ヲ懲罰ニ打込ンデ、サウシテソレ等ノ
者ヲ苦シメタルコト云フヤウナ弊害ハ、今日非
常ニ取除カレテ居ルノデアリマスルガ、尙
且ツ犯罪檢察ノ便宜上、或ハ其他ノ事情上、
警察官ガ無辜ノ人ヲ留置スルガ如キコトガ、
今日今尙ホ各警察署ニ於テ行ハレテ居リマ
スルコトハ顯著ナル實例デアリマス、斯ノ
如キコトハ、吾々國民ト致シマシテ、ドウ
シテモ之ヲ防止シナケレバナリマセヌ、犯

罪ヲ檢舉スル爲ニ、人ノ自由ヲ束縛セント致シマスルニハ、刑事訴訟法ニ依テ、強制留置ノ規定ガ設ケラレテ居リマス、ソレ以外ニハ自由ヲ束縛スルガ如キハ、不法ノ甚シキモノデアリマスカラシメ、斯ノ如キ弊害ヲ排除ク意味ニ於テ、行政執行法ノ第一條ノ第二項ト致シマシテ、同ジ事實ニ關シテ再ビ留置處分ニ付スルコトハ出來ナイトシテ、今日ノ引戻シ檢束、或ハ留置シ檢束ト云フコトヲナカラシメテ、人權擁護ノ實ヲ擧ゲタイト云フノガ、本案提出ノ理由デアリマス、何卒御賛成アラント御願致シマス

日程第六ノ嫡出子又ハ庶子ニ非サル子ノ名稱ニ關スル法律案、是ハ言葉ヲ換ヘテ申シマスルナラバ、私生子ト云フ名稱ヲ廢スルト云フ法律案デアリマス、御承知ノ如ク我國ノ法制ノ上ニ現ハレテ居ル、子ニ關スル名稱ハ、嫡出子、庶子、私生子ト云フ、此三ツニ分レテ居ルノデアリマス、親ガ不品行ヲシテ生レタ子ガ、私カニ生レタ子ト云フガ如キハ、親ノ立場カラ致シマスルナラバ、制裁ト云フ方面カラ云ヘバ、宜イカモ知レマセヌ、併ナガラ何等ノ罪ナクシテ生レマシタ其子ガ、親ノ不品行ノ結果、私カニ生レタ子ト云フガ如キ、實ニ自分ヲ侮辱シタル所ノ名前ヲ肩書ニ持ッテ、死ヌマデソレニ依ッテ精神上ノ痛苦ヲ受ケナケレバナラヌト云フガ如キハ、甚ダ都合ナコトデアルト私ハ考ヘテ居リマスルノミナラズ、色々ノ危險思想ヲ起スヤウナ者、若クハ犯罪ニ浸ルヤウナ者ノ多クハ、此私生子ト云フ名稱ヲ持ッテ居ル者ニ、幾分其數ノ多イコトヲ考ヘル時ニ於キマシテ、國ヲ憂フル所ノ人々ハ、法律ノ力ニ依ッテ、此私生子ト云フ名稱ガ改マルコトガ出來マスレバ、之ヲ改メテヤルト云フコトガ、最モ機宜ニ適シタル方法ナリト考慮致スノデアリマス、此意味ニ於テ嫡出子或ハ庶子ニ非サル所ノ子ヲ、私生子ト云フ名稱ヲ廢シマシテ、

母ノ子ト云フ名稱ニ變ヘタイト云フノガ、本案提出ノ理由デアリマス、何卒御協賛アラント御願致シマス

日程第七ノ計量士法案、是ハ今日色々ナ計量ニ關スル問題ガ進歩發達致シマシテ、此事ニ關シテ特別ノ知識ヲ有シナケレバナラナイト云フヤウニマデ進ンデ參リマシタ、故ニ此計量器ニ對シテハ、特別ノ知識ヲ有シ、調査シ、鑑定シ、監督スルト云フコトニ於キマシテ、計量士ト云フモノヲ設ケテ、之ニ其仕事ニ從事セシムルト云フコトハ、時勢ニ適シタル方法ト考ヘマシテ、計量士ノ資格認定ニ關シマスル法案トシテ、之ヲ提出致シタデアリマス、何卒御協賛アラント御願致シマス

日程第八ノ度量衡法中改正法律案ハ、所謂計量士ト云フモノヲ設ケラレタ曉ニ於テ、此計量士ガ調査、檢査シタル所ノ度量衡器ハ、公ノ職務ニ在ル人ガ、特別ニ是ヲ調査檢査等ヲスル手續ヲ省略シテ、由テ以テ是等度量衡ヲ使用スルノ便宜ニ供シタイト云フ趣旨ニ外ナリマセヌ、ドウゾ法案ノ趣旨ヲ十分御檢討相成リマシテ、御協賛アラント御願致シマス、之ヲ以テ説明ヲ終リマス(拍手)

○議長(秋田清君) 七案ニ對シテ何レモ質疑ノ通告ハアリマセヌ

○上田孝吉君 日程第二乃至第八ノ七案ハ、一括シテ政府提出手形法案ノ委員ニ併セ付託サレシコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第九ハ提出者ヨリ延期ノ申出ガアリマシタカラ、日程ヨリ之ヲ省キマス、日程第十乃至第十七ハ便宜上一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第十、敦賀清津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案、日程第十一、帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案、日程第十二、伊集院橋間鐵道敷設ニ關スル建議案、日程第十三、熱海線丹那隧道西口ニ停車場設置ニ關スル建議案、日程第十四、三陸沿岸鐵道速成ニ關スル建議案、日程第十五、白石中村間鐵道敷設ニ關スル建議案、日程第十六、國分川北間鐵道速成ニ關スル建議案、日程第十七、東北本線尻内下田間八戸經由ニ變更ニ關スル建議案、右ヲ一括シテ議題ト爲シ、各別ニ提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス

第十 敦賀清津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案(熊谷五右衛門君外一名提出)

第十一 帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案(寺田正君外二名提出)

第十二 伊集院橋間鐵道敷設ニ關スル建議案(寺田正君外二名提出)

第十三 熱海線丹那隧道西口ニ停車場設置ニ關スル建議案(仁田大八郎君提出)

第十四 三陸沿岸鐵道速成ニ關スル建議案(小野寺章君外十名提出)

第十五 白石中村間鐵道敷設ニ關スル建議案(佐々木家壽治君外六名提出)

第十六 國分川北間鐵道速成ニ關スル建議案(崎山武夫君外五名提出)

第十七 東北本線尻内下田間八戸經由ニ變更ニ關スル建議案(藤井達也君提出)

敦賀清津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案

敦賀清津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案

敦賀清津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案

敦賀清津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案

敦賀清津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案

敦賀清津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案

敦賀清津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案

敦賀清津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案

敦賀清津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案

敦賀清津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案

敦賀清津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案

敦賀清津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案

敦賀清津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案

敦賀清津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案

敦賀清津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案

タス
今ヤ滿洲國ハ獨立シテ吉會鐵道其ノ完成ヲ告ケムトスルニ當リ北滿ノ物資輸送上及歐露方面ヨリノ交通貿易上大陸本土トノ聯絡ヲ近接急遽ナラシムルノ必要切ナリ

而シテ清津又ハ雄基敦賀間ノ航路ハ此ノ聯絡上最捷徑ニシテ殊ニ敦賀港ハ本土内ニ於テモ鐵道ニ依リ旅客並物資ヲ京阪地方ハ勿論直ニ關東地方ニ運送スルニ至便ノ地ナリ斯ノ如ク右聯絡航路ハ交通貿易上及軍事外交上實ニ國運ノ發展上最急要ナル交通路ナリト認ム

現在北日本汽船會社ニ於テ清津敦賀間ヲ僅ニ月三四回往復スル新高丸アリト雖將來ノ發展ニ資スルニ足ラス依テ政府ハ速ニ計畫ヲ樹テ國費ヲ以テ少クモ五千噸級以上ノ船舶ヲシテ每週二三回宛敦賀清津又ハ雄基間ノ特急航路開始ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

帖佐入來間鐵道敷設ニ關スル建議案

伊集院通間鐵道敷設ニ關スル建議案
伊集院通間鐵道敷設ニ關スル建議案
鹿兒島本線伊集院驛ヨリ伊集院、下伊集院、東市來ノ各町村ヲ經テ通間村ニ至リ大川線通間驛ニ連絡スル鐵道ハ通間村市比野溫泉地帶ヲ貫通スルモノニシテ益浴客ニ便宜ヲ與ヘ豊富ナル沿線各村ノ農產、畜產、林產物等ヲ鹿兒島市及縣外ニ搬出シテ該地方ノ産業ヲ發達セシムルノミナラス縣下農產物ノ豐饒地帶タル薩摩國ヲ南北ニ縱貫シテ鹿兒島市ニ連絡スル捷徑重要ノ線路タリ仍テ政府ハ速ニ本線ヲ敷設セラレムコトヲ望ム
右建議ス

熱海線丹那隧道西口ニ停車場設置ニ關スル建議案
熱海線丹那隧道西口ニ停車場設置ニ關スル建議案

熱海線熱海驛ト三島町驛間ハ十六軒ニ垂ムトスル長距離ナルヲ以テ其ノ中間タル丹那隧道西口ニ停車場ヲ新設シ地方産業ノ振興並文化ノ向上ニ資セラレムコトヲ望ム
右建議ス

三陸沿岸鐵道速成ニ關スル建議案

三陸沿岸鐵道速成ニ關スル建議案
政府ハ速ニ岩手縣久慈ヨリ同縣大船渡ニ達スル沿岸鐵道ヲ建設セラレムコトヲ望ム
右建議ス

白石中村間鐵道敷設ニ關スル建議案

白石中村間鐵道敷設ニ關スル建議案
白石中村間鐵道敷設ニ關スル建議案
政府ハ速ニ東北本線白石驛ヨリ西根、角田、館矢間、丸森、金山、大内等ノ町村ヲ經由シ常磐線中村驛ニ連絡スル鐵道ヲ建設シテ運輸交通ノ發達ト文化ノ進展トヲ促進セラレムコトヲ望ム
右建議ス

國分川北間鐵道速成ニ關スル建議案
國分川北間鐵道速成ニ關スル建議案
國分川北間鐵道速成ニ關スル建議案
決定サレ居ルモノナルカ未タ之ヲ豫算計上ヲ見ス工事著手ノ遲ニ至ラサルハ誠ニ遺憾ニ堪ヘズ本鐵道ハ鹿兒島灣ヲ繞ル最有效ナル線路ニシテ交通經濟上缺クヘカラサルハ勿論現今同方面ノ經濟的發展ハ殊ニ著シク交通機關ノ完備ヲ熱望スルコト急ナルモノアルニ依リ一日モ早ク之ヲ完成ノ爲鐵道建設豫算ニ計上シ工事ニ著手セラレムコトヲ望ム
右建議ス

東北本線尻内下田間ヲ八戸經由ニ變更ニ關スル建議案
東北本線尻内下田間ヲ八戸經由ニ變更ニ關スル建議案

八戸線ハ東北本線尻内驛ヨリ分岐シ東海岸ヲ走り岩手縣久慈町ニ至ル唯一ノ交通線ニシテ地方繁榮ニ寄與スルコト甚大ナルモ東北本線尻内驛ハ該地方重要都市ナル八戸市ハ八戸驛ヲ去ル二里ニ垂ムトスル地點ニ在リ從テ八戸市内各驛ニ發著スル貨客輸送ノ不便不利實ニ言語ニ絶スルモノアリ殊ニ最近八戸市制實施セラレ八戸漁港施設完成シ更ニ商港ノ設備ヲ進展ヲ見ムトシ貨物ノ集散近頃頗ル賑旺呈スルニ至リ貨物輸送旅客ノ往來激増シ現在ノ八戸線ニテハ到底其ノ要求ヲ滿タスニ足ラサルノ實狀ナリ故ニ茲ニ八戸線八戸驛ヲ東北本線ノ一要驛トシ以テ其ノ要求ニ應セムカ爲ニ東北本線尻内驛ヨリ八戸驛ヲ經由シ下田驛ニ至ル樣路線ノ改修ヲ斷行シ以テ地方産業ノ開發進展ヲ計リ地方官民多年ノ宿望ヲ達セラレムコトヲ望ム
右建議ス

○議長(秋田清君) 日程第十、提出者熊谷五右衛門君
○議長(秋田清君) 日程第十、提出者熊谷五右衛門君

〔熊谷五右衛門君登壇〕
○熊谷五右衛門君 只今上程ニナリマシタ第十、敦賀清津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案ニ關スル建議ノ趣旨ヲ一言申上ゲタイト思フノデアリマス、滿洲新國家ハ成立シ、長春ヲ新京ト定メラレマシテ、吉會鐵道ノ完成ハ眼前ニ横ッテ居ルノデアリマス、是ニ於テ滿洲ト朝鮮、本土トノ交通ハ自然ニ起ル問題デアリマス、敦賀港ヨリ對岸ノ清津又ハ雄基ニ達スルノニハ、速力ノ早キ船ナラバ、二十六時間餘ニシテ達スルコトガ出來ルノデアリマス、ソレヨリ吉會線ニ依ル時ハ、僅ニ十五時間ニシテ新京ニ到著ヲ致シマス、今東京ヨリ釜山ヲ經由シテ新京ニ達シマスルノニハ、五十三時間ヲ要スルノデアリマス、之ニ比シマスル時ハ、二十時間ヲ短縮スルコトガ出來ルノデアリマス、最モ捷路ニ當ッテ居ルノデアリマス、敦賀ハ灣内廣ク致シマシテ、地勢ニ於キマシテハ近畿東海ヲ控ヘテ、即チ本土ノ中央部ヲ抱擁シテ居ルノデアリマス、今ヤ吉會線開通ノ曉ニハ、旅客ノ往復並ニ貨物ノ運輸ノ激増スルコトハ、火ヲ賭ルヨリ明デアリト思フノデアリマス、又軍事上ニ於キマシテモ、忽セニスルコト能ハザルコト、信ズルノデアリマス、過日請願委員會ニ於キマシテ、是ト同意味ノ請願ガ出マシテ、滿場一致ヲ以テ採擇ニ決セラレタノデアリマス、又中野君ガ一度清津ヨリ敦賀ニ上陸致シマシタ時ニ於テ、大ニ此必要ヲ感ゼラレテ、是同様ノ建議案ヲ提出サレタ次第デアリマス、鐵道省ノ經營ヲ以テ聯絡航路ノ開始セラレコトヲ切望シ、此建議案ヲ提出致シタ次第デアリマス、何卒滿場ノ諸君ノ御贊成ヲ御願致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 日程第十一及日程第十二、提出者寺田市正君
○寺田市正君 簡單デゴザイマスカラ、此

席ヨリ發言ノ御許ヲ願ヒマス
○議長(秋田清君) 許可致シマス
○寺田市正君 日程第十一第十二ハ、何レモ鐵道敷設ニ關スル建議案デゴザイマスガ、其詳細ナ點ハ何レ委員會ニ於テ説明致シマス、其地方ノ重要産業ノ發達ヲ促進シ、沿線國民ノ福利ヲ増進スル、有益有用ナル線路デゴザイマスカラ、速ニ敷設セラレルヤウニ、諸君ノ御協賛ヲ御願致シマス
○議長(秋田清君) 日程第十三、提出者仁田大八郎君
○仁田大八郎君 簡單デアリマスカラ自席カラ……
○議長(秋田清君) 許可致シマス
○仁田大八郎君 只今上程サレマシタ日程第十三ハ、目下工事中ニ屬シテ居リマス熱海線、即チ熱海三島間十六軒ノ間ノ、丁度中間ニ當リマス丹那隧道西口ニ停車場ヲ設置致シマシテ、地方産業ノ開發、旅客ノ利便ヲ圖ラントスル目的デアリマス、趣意ハ理由書ニ明デアリマスカラ省略致シマス、何卒御審議ノ上協賛ヲ賜ハラント御願致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 日程第十四、提出者小野寺章君
○小野寺章君 簡單デアリマスカラ自席カラ……
○議長(秋田清君) 許可致シマス
○小野寺章君 本建議案ハ、我國ノ鐵道中ニ於キマシテ、海岸ニ沿ヒテ敷設セラルベキモノハ、概ネ竣工シテ居ルノデアリマス、僅ニ四國ノ一部ト三陸沿岸トヲ殘スノミデアリマスガ、就中三陸沿岸線ニ至リマシテハ、曩ニ田中内閣ニ於キマシテ、八戸久慈間ノ工事ヲ終リ、續イテ久慈ヨリ普代ニ達スル線ヲ著工センコトヲ期シテ、既ニ第五十六議會ニ於キマシテ其豫算ヲ決定致シタノデアリマス、然ルニ其後ノ内閣ハ、財政上ノ理由ヲ以チマシテ之ヲ中止シ、以テ今日ニ至ッタノデアリマス、三陸沿岸ハ御承知

フト、迎モ自動車デハ確實ニ、又安全ニ往

東北本線尻内驛ヲ離レマスコト二里程ノ場

第二十 大柚神社創建ニ關スル建議案
(樋口典常君外一名提出)

三回帝國議會ニ提出セラレムニテ天皇ノ
右建議ス

大仙神社創建ニ關スル建議案

大仙神社創建ニ關スル建議案

福岡縣八女郡矢部村大字御側ニ大仙神社ヲ建設シ後征西大將軍長成親王ヲ奉祀セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○議長(秋田清君) 提出者ガ缺席セラレテ居リマスカラ、趣旨辯明ヲ抛棄セラレタモノト看做シマス——日程第十九、提出者西岡竹次郎君

○西岡竹次郎君 簡單デスカラ自席カラ説明スルコトヲ許シテ戴キタイと思ヒマス

○議長(秋田清君) 許可致シマス

○西岡竹次郎君 只今議題トナリマシタル日程第十九ノ詳細ナル説明ハ、委員會ニ讓リタイと思ヒマス、唯衛生組合ノ制定ニ關スル本案ハ、屢、請願セラレテ採擇セラレテ居リマス、尙ホ五十九議會ニ於キマシテハ、政府ガ貴族院ニ提案致シマシテ、審議未了ニナリテ居ルノデアリマス、何卒御賛成ヲ賜ハラント御願致シマス

〔樋口典常君登壇〕

○樋口典常君 本案ハ後征西大將軍長成親王ノ御墓所ヲ、福岡縣八女郡矢部村大字御側ニ奉祀シテ、私共ガ多年其忠節ヲ顯彰シ、國家教育上ノ資料ニ供シタイト云フ、此心持ヲ表彰シタイと思フノデアリマス、此後征西大將軍ノコトハ史實ニ明カデアリマスカラ、茲ニ喋々ト述ブル必要ハナイと思フノデアリマス、詳シイコトハ委員會デ説明ヲ致シマス、ドウゾ滿場一致ヲ以テ御賛成ヲ望ミマス

〔贊成「ト呼フ者アリ」〕

○議長(秋田清君) 各案共質疑ノ通告ハアリマセヌカ

○上田孝吉君 日程第十八乃至第二十ノ三案ハ、一括シテ清瀬一郎君提出、衆議院議

員選舉法中改正法律案外三件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタル——日程第二十一乃至第二十三ハ便宜上一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第二十一、内地臺灣間航空輸送開始ニ關スル建議案、第二十二、鹿兒島縣鹿屋飛行場ニ陸海軍飛行隊設置ニ關スル建議案、第二十三、佐世保鎮守府海軍病院附屬療養所設置ニ關スル建議案、右ヲ一括シテ議題ニ爲シ、各別ニ提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス、日程第二十一及第二十二——提出者永田良吉君

第二十一 内地臺灣間航空輸送開始ニ關スル建議案(永田良吉君提出)

第二十二 鹿兒島縣鹿屋飛行場ニ陸海軍飛行隊設置ニ關スル建議案(永田良吉君提出)

第二十三 佐世保鎮守府海軍病院附屬療養所設置ニ關スル建議案(佐保畢雄君外四名提出)

内地臺灣間航空輸送開始ニ關スル建議案

内地臺灣間航空輸送開始ニ關スル建議案

政府ハ内地臺灣間ニ航空輸送ヲ速ニ實施セラレムコトヲ望ム

右建議ス

鹿兒島縣鹿屋飛行場ニ陸海軍飛行隊設置ニ關スル建議案

鹿兒島縣鹿屋飛行場ニ陸海軍飛行隊設置ニ關スル建議案

政府ハ空軍ノ充實ヲ圖リ國防ノ安全ヲ確保スル爲鹿兒島縣鹿屋飛行場ニ飛行隊設置ノ計畫ヲ速ニ實施セラレムコトヲ望ム

右建議ス

佐世保鎮守府海軍病院附屬療養所設置ニ關スル建議案

佐世保鎮守府海軍病院附屬療養所設置ニ關スル建議案

佐世保鎮守府海軍病院ハ該鎮守府管下ノミナラス附近ニ在ル海軍部隊ノ海軍軍人ヲ收容スルヲ以テ管轄極メテ廣範圍ニシテ明治二十二年六月開設以來入院患者累計約二萬五千人一箇月平均入院患者數三百三十名乃至四百五十名ニシテ日清日露ノ兩戰役ハ勿論今同ノ日支事變ニ際シテハ多數ノ傷病兵ヲ收容セリ而モ患者ノ病狀經過ニ依リテハ大分縣龜川海軍病院ニ送リテ治療ヲ爲サシメツアルモ同所ハ遠隔ノ地ニシテ患者輸送ニ多大ノ時間ヲ要シ從テ患者ノ苦痛甚シク且家庭トノ聯絡モ誠ニ不便ナリ依テ日清日露ノ兩戰役當時佐世保海軍病院假療養所トシテ選定セル佐世保縣嬉野溫泉場ハ佐世保ヨリ自動車ヲ以テ約一時間餘ノ距離ニ在リテ溫泉噴出量モ極メテ豊富而モ土地乾燥ニシテ療養所トシテハ理想的ノ地ナルヲ以テ同所ニ海軍病院附屬療養所ヲ設置セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔永田君ハ居リマセヌ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(秋田清君) 提出者缺席ノ趣キデアリマスカラ、趣旨辯明ヲ抛棄セラレタルモノト看做シマス、日程第二十三——提出者佐保畢雄君

○佐保畢雄君 簡單デアリマスカラ、自席

ヨリ發言ヲ御許シテ願ヒマス

○議長(秋田清君) 許可シマス

○佐保畢雄君 本案ニ對スル趣旨ヲ簡單ニ

述ベタイと思ヒマスルガ、佐世保鎮守府海軍病院ハ、自己鎮守府管下ノミナラス、附近ニ散在スル所ノ海軍部隊ノ軍人ヲ收容スルガ爲ニ、其範圍ガ極メテ廣イノデアリマスルガ、明治二十二年六月海軍病院ガ開設セラレマシテ以來今日ニ至ルマデ、患者總數ハ三萬五千ニナリマス、現在ニ於キマシテ一箇月ノ平均患者數ハ、三百五十乃至四百五十ニ達シテ居ルノデアリマスルガ、日清、日露ノ兩戰役ノ如キハ勿論、今同ノ日支事變ニ際シマシテハ、多數ノ傷病兵ヲ收容シテ居ルノデアリマス、然ルニ病氣ノ經過如何ニ依リマシテハ、大分縣龜川病院ニ之ヲ送ルノデアリマスルガ、御承知ノ通り佐世保ヨリ龜川病院マデハ十數時間ヲ費スルノ遠距離デアリマス、斯ルガ爲ニ、病人ガ途中ニ於テ却テ病勢ヲ惡クシマスルヤウナ傾ガアルノデアアル、殊ニ家族トノ便利ハ洵ニ不便デアリマス、軍人ト云ハズ、殊ニ軍人ガ入院中ニ於テ家族ト隔絶スルコトハ、精神的ニ非常ニ同情ニ堪ヘナイノデアリマス、殊ニ薄給ナル海軍下士官ガ家族ノ生計上ニ多大ノ影響ヲ及ボスモノデアリマスルガ故ニ、日清、日露ノ兩戰役當時、佐賀縣嬉野溫泉場ヲ假收容所ト致シタノデアリマス、此土地ハ佐世保ヨリ自動車ヲ以テ僅ニ一時間、而モ溫泉ノ噴出量ハ極メテ豊富デアリマス、又土地ハ乾燥デアアルガ故ニ、海軍病院トシテハ洵ニ理想的ノ土地デアリマス、特ニ家族トノ交通ニ洵ニ便利ナ所デアアル、此土地ニ海軍ノ療養所ヲ造ッテ戴カンコトヲ私ハ切ニ御願致シテ、各位ノ御賛成ヲ願

ヒタイノデアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 各案何レモ質疑ノ通告ハアリマセヌ

○上田孝吉君 日程第二十一ハ、中野寅吉君提出、田島今市間鐵道速成ニ關スル建議案外二十一ハ、日程第二十二及第二十三ノ兩案ハ、永田良吉君外七名提出、航空省設置ニ關スル建議案外二件ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第二十四第二十五ハ、提出者同一ノ議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第二十四、計理士法中改正ニ關スル建議案、日程第二十五、稅務代理人法制定ニ關スル建議案、右ヲ一括シテ議題ト致シマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——提出者中井一夫君

第二十四 計理士法中改正ニ關スル建議案(中井一夫君提出)

第二十五 稅務代理人法制定ニ關スル建議案(中井一夫君提出)

計理士法中改正ニ關スル建議案
計理士法中改正ニ關スル建議
計理士法中左ノ通改正セラレムコトヲ望ム

第一條中「計理士ノ稱號ヲ用ヒテヲ削ル
第二條第一項ニ左ノ一號ヲ加フ

三 計理士試験トシテ一年六月以上ノ實務修習ヲ了ヘ考試ヲ經タルコト
同條第二項ヲ左ノ如ク改ム
計理士試験ニ關スル事項並計理士試験實務修習及考試ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 削除

第五條 計理士タラントスル者ハ計理士登録簿ニ登録ヲ受ケ又其ノ登録五年後尙引續キ計理士タラントスル者ハ其ノ登録ノ更新ヲ受ケルコトヲ要ス
計理士ノ登録及其ノ更新ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 計理士ノ登録ヲ受ケントスル者ハ登録料トシテ二十圓ヲ納付シ又計理士登録ノ更新ヲ受ケントスル者ハ登録更新料トシテ十圓ヲ納付スベシ

第七條ノ二 計理士ハ報酬アル公務ヲ兼ヌルコトヲ得ズ但シ法令ニ依リテ組織セラレタル議會ノ議員ト爲リ又ハ公務所ヨリ特ニ任命セラレタル職務ヲ執行スルハ此ノ限ニ在ラズ
計理士ハ商業其ノ他ノ業務ヲ營ミ又ハ營利ヲ目的トスル法人ノ義務ヲ執行スル社員理事取締役無限責任社員ト爲リ若ハ營利ヲ目的トスル事業ニ使用人ト爲ルコトヲ得ズ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條ノ三 計理士職務ノ委託ヲ受ケタルニ因リ知リタル事實ニシテ默秘スベキモノニ關シテハ民事訴訟法第二百八十一條第二號及刑事訴訟法第八十七條ノ規定ヲ準用ス

第十三條 計理士タル資格ヲ有スルモ其ノ登録ヲ受ケズ又ハ其ノ登録更新ヲ受ケズシテ計理士ノ業務ヲ行ヒタル者ハ十圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス
第七條ノ二ノ規定ニ違反シタル者亦同ジ
非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ付之ヲ準用ス

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
本法施行ノ際舊規定第三條各號ノ一ニ該當シ第七條ノ二ノ規定ニ抵觸セザル者ハ本法施行ノ日ヨリ一年以内ニ其ノ登録ノ申請ヲ爲ストキハ第二條第二號第三號ノ規定ニ拘ラズ計理士試験委員ノ銓衡ヲ經テ計理士タルコトヲ得
本法施行ノ際計理士ニシテ計理士登録後四年六月以上ヲ經過シ登録五年後尙引續キ計理士タラントスル者ハ其ノ計理士業務ノ實績ヲ證スルニ足ル書類ヲ添附シテ本法施行ノ日ヨリ六月以内ニ其ノ登録更新ノ申請ヲ爲スコトヲ要ス
登録更新ノ申請ヲ爲サザル者ノ登録ハ其ノ登録後五年ヲ經過スルトキハ其ノ效力ヲ失フモノトス
本法施行ノ際現ニ兼業又ハ兼職ヲ有スル計理士ニシテ本法施行ノ日ヨリ六月以内ニ其ノ申告ヲ爲ス者ハ計理士試験委員ノ銓衡ヲ經テ本法施行後二年ヲ限リ第七條ノ二ノ規定ノ適用ヲ受ケザルコトヲ得
右建議ス

計理士法中改正ニ關スル建議案理由書

會計検査人制度創始ノ爲制定セラレタル昭和二年法律第三十一號計理士法ハ其ノ資格規定ニ根本的缺陷ヲ有スルノミナラ

ス兼業禁止ノ規定ヲ缺キタルカ爲其ノ實施後五箇年ヲ出テサルニ計理士登録數四千ヲ算シ一方多數有名無實ノ形式の登録者ノ續出ヲ見他方計理士法實施當初多數稅務代理業トスル者カ附則第三項ノ適用ニ依リ計理士ノ登録ヲ受ケタルノ結果計理士界ハ玉石混淆ノ狀態ヲ呈シ又昭和四年信託業法改正ノ結果信託會社カ計理士法ノ外ニ立チテ會計検査業トスルコトヲ得ルニ至リタルニモ拘ラス計理士法ノ不備ナリシ爲其ノ使用人ニシテ計理士ノ登録ヲ爲シタル者少カラス計理士ニ依ル會計検査人制度ノ獨自性ヲ失ハシムルニ至リ會計検査人トシテノ計理士制度ノ發達ヲ阻碍スルコト甚タ大ナルモノアリ仍テ吾人ハ一方稅務代理人法ヲ制定シテ之ヲ計理士制度ノ外ニ分離セシメ他方計理士法ノ資格規定改正兼業禁止規定並登録更新規定等ノ前定ニ依リ有名無實ノ形式の計理士登録者ヲ整理シ會計検査人トシテノ計理士制度ヲ純化シ其ノ獨自性ヲ確立シ以テ本邦產業界ノ爲ニ其ノ發達ヲ企圖セムトス是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

稅務代理人法制定ニ關スル建議案

稅務代理人法制定ニ關スル建議

稅務代理人法ヲ左ノ通制定セラレムコトヲ望ム

稅務代理人法

第一條 稅務代理人ハ他人ノ委任ヲ受ケ稅務ニ關シ當該公務所ニ對シ願届申立其ノ他爲スヘキ手續ノ代理ヲ爲スコトヲ業トスルモノトス但シ訴訟行爲ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 左ノ條件ヲ具フル者ハ稅務代理人タル資格ヲ有ス

一 帝國臣民又ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ外國ノ國籍ヲ有スル者ニシテ私法上ノ能力者タルコト

二 稅務代理人試驗ニ合格シタルコト

稅務代理人試驗ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ稅務代理人試驗委員ノ銓衡ニ依リ前條第一項第二號ノ規定ニ拘ラス稅務代理人タル資格ヲ有ス

一 學位ヲ有スル者

二 帝國大學若ハ大學令ニ依ル大學又ハ專門學校令ニ依ル專門學校ニ於テ定規ノ課業ヲ卒ヘタル者

三 主務大臣ニ於テ前號ニ掲グル學校ト同等以上ト認ムル學校ニ於テ定規ノ課業ヲ卒ヘタル者

四 稅務官トシテ判任五年以上又ハ奏任二年以上在職シタル者

五 計理士法ニ依リ計理士タル資格ヲ有スル者

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ稅務代理人タル資格ヲ有セス

一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者但シ二年未滿ノ懲役若ハ禁錮ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行ヲ終リ若ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル日ヨリ起算シ三年ヲ經過シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

二 前號ニ該當スル者ヲ除クノ外第十條五條又ハ第十六條ノ罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタル者但シ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル日ヨリ起算シ三年ヲ經過シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

三 破産者ニシテ復權ヲ得サル者

四 稅務代理人ノ業務ノ停止期間中其ノ業務ヲ廢止シ未タ其ノ期間ノ經過セサル者

五 稅務代理人ノ業務ノ禁止ノ處分ヲ受ケタル者但シ其ノ處分ヲ受ケタル日ヨリ起算シ三年ヲ經過シ主務大臣ニ於テ改悛ノ情顯著ナリト認メタル者ハ此ノ限ニ在ラス

六 懲戒處分ニ依リ免官若ハ免職セラレタル者但シ其ノ處分ヲ受ケタル日ヨリ起算シ二年ヲ經過シ主務大臣ニ於テ改悛ノ情顯著ナリト認メタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第五條 稅務代理人タラムトスル者ハ稅務代理人登錄簿ニ登錄ヲ受クルコトヲ要ス稅務代理人ノ登錄ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 稅務代理人ノ登錄ヲ受ケムトスル者ハ登錄料トシテ二十圓ヲ納付スヘシ

第七條 稅務代理人ハ稅務ニ關スル公務員タルコトヲ得ス

第八條 稅務代理人ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事項ヲ爲スコトヲ得ス

一 稅務ニ關スル公務員在職中取扱ヒタル事件ノ代理ヲ爲スコト

二 稅務代理人ニ非サル者ヲシテ其ノ業務ノ代理ヲ爲サシムルコト

三 事件勸誘ノ目的ヲ以テ稅務ニ關スル會ヲ組織スルコト

第九條 稅務代理人ハ業務上委任者ヨリ受クル報酬ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ從フモノトス

第十條 稅務代理人ハ委任者ノ住所氏名

受任年月日事件要領報酬事件終了年月日備考等ノ欄ヲ設クル事件簿ヲ備ヘ各欄ノ要項ヲ記載シ使用後二年間之ヲ保存スヘシ

第十一條 主務大臣ハ必要ト認ムルトキハ前條ノ簿冊及關係書類ノ提出ヲ命ジ若ハ當該官吏ヲシテ臨檢査閣セシムルコトヲ得

第十二條 稅務代理人ハ主務大臣ノ監督ニ屬ス

第十三條 稅務代理人本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ又ハ品位ヲ失墜スヘキ行爲若ハ業務上不正ノ行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ稅務代理人懲戒委員會ノ議決ニ依リ之ヲ懲戒スルコトヲ得

稅務代理人懲戒委員會ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 稅務代理人ノ懲戒處分ハ次ノ四種トス

一 譴責

二 千圓以下ノ過料

三 一年以內稅務代理人ノ業務ノ停止

四 稅務代理人ノ業務禁止

前項第二號ノ過料ヲ完納セサルトキハ主務大臣ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス

非訟事件手續法第二百八條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ執行ニ付之ヲ準用ス

第十五條 稅務代理人又ハ稅務代理人タリシ者故ナク其ノ業務上取扱ヒタル事項ニ付知得タル秘密ヲ漏泄シ又ハ竊用シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第十六條 稅務代理人タル資格ヲ有セス

シテ稅務代理人ノ業務ヲ行ヒタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條 稅務代理人タル資格ヲ有スルモ其ノ登錄ヲ受ケスシテ稅務代理人ノ業務ヲ行ヒタル者ハ十圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ付之ヲ準用ス

第十八條 稅務代理人第七條第八條第九條ノ規定ニ違反シ又ハ第十一條ノ規定ニ依ル簿冊書類ノ提出若ハ臨檢査閣ヲ拒ミ若ハ之ヲ妨ケ若ハ虛偽ノ記載ヲ爲シタル簿冊書類ヲ提示シタルトキハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ノ適用ニ付テハ明治十三年第三十六號布告刑法ノ二年ノ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ二年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス

本法施行ノ際迄引續キ一年以上稅務代理ノ業務ニ従事シタル者ハ本法施行ノ日ヨリ六月以內ニ出願シタルトキニ限り第二條第一項第二號ノ規定ニ拘ラス稅務代理人試驗委員ノ銓衡ヲ經テ稅務代理人タルコトヲ得

右建議ス

稅務代理人法制定ニ關スル建議案理由書

稅務ノコトタル實ニ國家財政ニ關スル樞軸ナリ然レニ之ヲ本邦ノ實狀ニ徴スルニ一般納稅者ノ稅務知識極メテ幼稚ナルカ故ニ納稅者ノ委任ヲ受ケ稅務手續ノ代理

ヲ業トスル者近時夥シク増加シ或ハ不正不當ノ要求ヲ納稅者ニ獎メ司稅者ニ對スル紛爭ヲ激成シ又ハ減損更訂其ノ他ニ關シ納稅者ヨリ不當ノ報酬ヲ收受シ甚シキニ至リテハ報酬ニ關スル訴訟ヲ提起シテ納稅者ヲ苦シムルモノスラ尠シトセス仍テ吾人ハ一般納稅者ノ被害ヲ除キ稅務ニ關スル紛爭ヲ少ナカラシメ且稅務行政ノ圓滑公正ヲ期スル爲稅務代理人法ヲ制定シ其ノ資格ヲ定メ之ヲ取締リ嚴重ニセムコトヲ企圖ス是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

〔中井一夫君登壇〕

○中井一夫君 先ヅ計理士法中改正ニ關係致シマスル建議理由ヲ簡單ニ説明致シタリト存ジマス、會計検査人制度創始ノ爲メ制定セラレマシタ昭和二年法律第三十一號計理士法ハ、其資格規定ニ根本的ノ缺陷ヲ有シテ居リノミナラズ、兼業禁止ノ規定ヲ缺イデ居リマスルガ爲ニ、其實施後五箇年ヲ出ザルニ、早ヤ計理士登録四千算シテ居ルト云フ狀態デアリマス、一方多數有名無實ノ形式的登録者ノ續出ヲ見マシテ、他方計理士法實施當初多數稅務代理業トスル者ガ、附則第三項ノ適用ニ依リ計理士ノ登録ヲ受ケマシタ結果計理士界ハ玉石混淆ノ狀態ヲ呈シマシタ、又昭和四年信託業法改正ノ結果、信託會社ガ計理士法ノ外ニ立チマシテ、會計検査ヲ業トスルコトヲ得ルニ至リマシタニ拘ラズ、計理士法ノ不備ナリシガ爲ニ、其使用人デアッテ計理士ノ登録ヲ爲シタ者ガ少クナイノデアリマス、計理士ニ依ル會計検査人制度ノ獨自性ヲ失ハシムルノ結果トナリマシテ、會計検査人トシテノ計理士制度ノ發達ヲ阻害スルコト甚

ダナルモノガアルニ至ッタノデアリマス、仍テ吾人ハ一方稅務代理人法ヲ制定シテ之ヲ計理士制度ノ外ニ分離セシメ、他方計理士法ノ資格規定ヲ改正シ、兼業禁止規定並ニ登錄更新規定等ノ制定ニ依リマシテ、有名無實ノ形式的計理士登録者ヲ整理シ、會計検査人トシテノ計理士制度ヲ純化致シマシテ、其獨自性ヲ確立シ、以テ本邦產業界ノ爲ニ其發達ヲ企圖セント致スノデアリマス、是レ本案ヲ提出致シマシタ理由デゴザイマスカラ、何卒各員ニ於カレマシテモ滿場一致御贊成ヲ賜ハリタイノデアリマス、尙ホ特ニ議長ニ御願致シタイト思ヒマスコトハ、此計理士法中改正ニ關係致シマスル改正ノ文案ニ付キマシテハ、相當繁雜デアリ、長文ニ互ルノデアリマス、一々此處ニ中上ダベキ筈デアリマスレドモ、其煩ヲ省キマシテ書面ヲ提出致シマスカラ、之ニ依リマシテ速記録ニ掲載スルコトヲ特ニ御許シテ得タイト存ズルノデアリマス

○議長(秋田清君) 許可致シマス

○中井一夫君(續) 尙ホ次ニ稅務代理人法制定ニ關スル建議ノ理由ヲ簡單ニ申述ベタリト存ジマス、稅務ノ事タル、寔ニ國家財政ニ關スル樞軸デゴザイマス、然ルニ之ヲ本邦ノ實情ニ見マスルト云フト、一般納稅者ノ稅務知識極メテ幼稚デアリマスガ故ニ、納稅者ノ委任ヲ受ケ、稅務手續ノ代理ヲ業トスル者、近時甚ダ多ク増加致シタノデアリマス、或ハ不正不當ノ要求ヲ納稅者ニ勸メマシタリ、司稅者ニ對スル紛爭ヲ激成致シマシタリ、又ハ減損更訂其他ニ關係シマシテ、納稅者ヨリ不當ノ報酬ヲ收受シ、甚シキニ至リマシテハ報酬ニ關スル訴訟ヲ提起シテ、納稅者ヲ苦ムルト云フガ如キ者

スラ尠シトセヌノデアリマス、仍テ吾人ハ一般納稅者ノ被害ヲ除キマシテ、稅務ニ關スル紛爭ヲ少カラシムルガ爲ニ、且ツ稅務行政ノ圓滑公正ヲ期シマスルガ爲ニ、稅務代理人法ヲ新ニ制定致シマシテ、其資格ヲ定メ、是ガ取締リ嚴重ニ致シタイト存ズルノデアリマス、是レ本案ヲ提出致シタ所以デゴザイマス、何卒各員ニ於カレマシテモ滿堂一致御贊同ヲ賜ハリタイノデアリマス、尙ホ特ニ議長ニ御願ヲ致シテ置キタイト存ジマスルコトハ、此稅務代理人法ノ内容、亦甚ダ複雑デアリ、相當長文ニモ互ルノデアリマス、隨ヒマシテ茲ニ一々申述ベルベキ筈デアゴザイマスカレドモ、特ニ御許シテ得マシテ、後ニ提出致シマス書面ニ依ッテ之ヲ速記録ニ掲載スルコトヲ御許可賜ハリタイト存ズルノデアリマス、特ニ御願ヲ致シマス

○議長(秋田清君) 許可致シマス——兩案共質疑ノ通告ハアリマセヌ

○上田孝吉君 日程第二十四及第二十五ノ兩案ハ、一括シテ政府提出、手形法案外七件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第二十及第二十七ハ、便宜上一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第二十六、事務官身分保障ニ關スル建議案、日程第二十七、貴衆兩院議員航空輸送優遇ニ關スル建議案、右ヲ一括ト爲シ、

各別ニ提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——日程第二十六、提出者清瀨一郎君

第二十六 事務官身分保障ニ關スル建議案(清瀨一郎君提出)

第二十七 貴衆兩院議員航空輸送優遇ニ關スル建議案(永田良吉君提出)

事務官身分保障ニ關スル建議案
事務官身分保障ニ關スル建議
政府ハ事務官ノ身分ヲ保障スルノ制度ヲ立ツヘシ

右建議ス
貴衆兩院議員航空輸送優遇ニ關スル建議案
貴衆兩院議員航空輸送優遇ニ關スル建議

建議
政府ハ貴衆兩院議員ニ對シ航空輸送ニ依ル優遇ノ方法ヲ速ニ實施セラレムコトヲ望ム

右建議ス
〔清瀨一郎君登壇〕

○清瀨一郎君 日程第二十六ハ事務官ノ身分保障ニ關スル建議案デアリマス、此案ハ去ル七日御審議ヲ願ヒマシタ衆議院議員選舉法ノ改正ト兩翼ヲナス案デアリマス、今日選舉界ニ於テ最モ憂フベキモノハ、一ツハ買収デ、モウ一ツハ干渉デアル、其中デ本案ハ選舉干渉ヲ無クシヨウト云フコトガ狙ヒ所ナノデス、過去數年ノ間地方官、殊ニ警察官吏ガ選舉ノ際ニ、如何ナル態度ヲ執ツカト云フコトハ、諸君御承知ノ通りナノデアル、今一々之ヲ述ブルニ忍ビマセヌ、或ハ無實ナ者ヲ警察ニ引張り、或ハ又投票買収ノ手傳ヲ爲シ、最近熊本ニ於ケル如キハ、實ニ言語ニ絶スル醜態デアリマ

スケレドモ、此譯ヲ能ク考ヘテ見ルト云フ

ト、警察官其人ニモ惡イ所ハアルケレドモ、政黨政治ノ下ニ於テ、身分保障ナキ警察官ハ如何ニ處スルカ、嚴正公平ニヤツテ免職ヲ受ケルカ、上官ニ迎合シテ其地位ヲ保ツカ、此立場ニ置カレテ居ルノデアリマスルカラ、薄志弱行ノ警察官ハ、或ハ知事、或ハ政府ニ迎合シテ、之ヲ爲スニ至ラデ居ルノデアリマス(ノーノ)「ナンボノノ」ト言ハレテモ、是ハ白日ノ下ニ明ナコトデアル(ヒヤノ)「今日我國ニ警察官ノ選舉干渉ナシト、諸君ハ百万遍仰シヤツテモ、之ヲ認メル者ハアリマセヌ、ソレデ……(發言スル者アリ)民政モ政友モ兩方共デス、是ハチットモ間違アリマセヌ、ソコデ幾ラカ官吏ニ安心ヲ與ヘレバ、選舉干渉ガ少クナルデアラウト云フコトヲ、此頃私ハハッキリ見タ、今東京ト横濱ニ選舉ガアリマスルガ、丁度政府ガ中立性ノ政府デアリマスルガ故ニ、政友會ノ任命シタ知事モ警察官モ選舉干渉ヲシナイノデス、ダカラ立場サヘ安心デアラナラバ、選舉干渉ハ止マルカモ分ラヌコトハ、今回ノ選舉デ能ク分ラテ居ル(其通り)ト呼フ者アリ)ソコデ私ハ何卒諸君ノ御賛成ヲ得マシテ、事務官ノ身分保障ヲ徹底シタイ、元來政務官ヲ作ラレタ以上ハ、事務官ハ中立デアルベキニ拘ラズ、政府ガ更迭スル度毎ニ、事務官デアアル府縣知事、各省ノ事務次官、是マデガ迭ル、是ハ不思議ナコトデアリマス、國論モ略、官吏身分保障ニハ一致致シテ居ルヤウニモ察スルノデアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御賛成アラントヲ御願申上ゲマス(拍手)

○議長(秋田清君) 日程第二十七 提出者永田良吉君

(永田良吉君登壇)

○永田良吉君 貴衆兩院議員航空輸送優遇ニ關スル建議案ノ趣旨ヲ至極簡單ニ説明申上ゲマス、吾々此貴衆兩院議員ニ對シマシテハ、鐵道輸送ニ於キマシテモ「パス」ガアリマスシ、尙又航海上、汽船等ニ於テモ、全額乃至半額ノ割引ガアルノデアリマス、今日陸運水運並ニ航空輸送ガ行ハレル以上ハ、矢張飛行機ニ乗ル際モ同ジク優遇ヲ私ハ受クベキモノデアルト信ジテ居ルノデアリマス、然ルニ何故カ航空輸送會社ハ、此吾々議員ノ搭乘スルノニ向テ割引ヲセナイ、是ガ爲ニ甚ダ困ルノデアリマス、殊ニ吾々ノ如キ、鹿兒島邊カラ東京迄來ルニハ汽車デ三日モ四日モ掛ルノデアリマス、斯ナニ汽車ニ揺ラレテハ堪タモノデハナイ、飛行機デ太刀洗カラ東京迄來ルニハ、何デモナイ、所ガ太刀洗カラ東京迄飛行機デハ六十五圓取ラレルノデアリマス、汽車ノ方ハ只デアリマス、只ノ方ガ宜イカラ、仕方ナシニ汽車ニ乗テ來ルノデアリマス、甚ダハ困タモノデアルト思フノデアリマス、尙ホ私ハ、今航空路ハ福岡、東京、大連マデニナッテ居リマスケレドモ、是カラ滿蒙ノ邊ニ新シイ國デモ出來マスト云フト、是カラ奉天、長春ノ邊マデモ延ビナケレバナラス、サウ云フ際ニ於テ、早ク吾々ハ滿蒙ニ進出ガ出來マスカラシテ、此優遇方法ハ最早十分考ヘナケレバナラヌ問題デアルト思フノデアリマス、尙又東京カラ大阪、福岡、並ニ此内地ト臺灣間ノ航空輸送ガ開始サレマシタ場合モ、頗ル此案ハ御互ノ爲ニ有利ダラウト思フノデアリマス、其他北海道カラ樺太ノ方面ニ延ビタ場合、何レニシテモ今少シク日本ノ民間航空輸送ガ

發達シタ場合ニハ、當然過ギル程是ハ航空「パス」ナリ、半額ノ割引ナリヲ受クベキモノト思フノデアリマス、之ヲ早目ニ發行シテ貰ヒタイト思フテ、此建議案ヲ出シタ譯デアリマス、尙ホ私ハ是ガ安イト云フト、貴衆兩院議員ノ方モ飛行機ニ御乗リニナル、飛行機ニ乗ラレルト云フト、航空ノ方ニ隨分御理解ヲ持ツヤウニナリマス、御乗リニナラヌカラ、皆飛行機ヲ怖イヤウニ御考ニナルノデアリマス、デアルカラ此「パス」ヲ發行シマス、齋藤總理大臣初メ各閣僚ノ方々モ飛行機ニ御乗リニナルヤウニナル、貴衆兩院議員ノ方モ、腰ハ曲テモ、御乗リニナル、サウスルト日本ノ民間航空輸送ハ餘程發達シハセヌカト思フ、航空輸送會社ハ客ナコトヲシテ、遞信當局ガ餘リ御氣付ニナラヌモノダカラ、一向「パス」ヲ發行シナイノデアリマス、是ハ航空ニ理解ヲ持ツト云フ上カラ必要デアラウト思フテ居リマス、唯私ハ客ナ根性バカリデアリマセヌ、航空ヲ理解シ、航空ヲ利用スルト云フ意味カラ、此建議案ヲ御採擇ニナッテ、御賛成遊バヌヤウニ御願致ス次第デアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 兩案トモ別ニ質疑ノ通告ハアリマセヌ

○上田孝吉君 日程第二十六及第二十七ノ兩案ハ一括シテ永田良吉君外一名提出航空省設置ニ關スル建議案外四件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○上田孝吉君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際政府提出、關稅定率法中改正法律案、輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案及遠洋漁業獎勵法中改正法律案ヲ一括シテ議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、關稅定率法中改正法律案、輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案、遠洋漁業獎勵法中改正法律案、右ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長東武君

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

遠洋漁業獎勵法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一關稅定率法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和七年六月十日

委員長 東 武

衆議院議長秋田清殿

附帶決議

一政府ハ本案實施ノ狀況ニ鑑ミ將來一層其ノ完壁ヲ期スルハ勿論特ニ從量稅ノ三割五分一律引上ケノ内容ニ就テハ各品目ニ付完全ナル調査ヲ遂ゲ稅率改正案ヲ次期通常議會ニ提出スヘシ

二 南洋材ニ對スル課稅ハ政府部内ニ於テ詮議未了ノ爲保留セラレタルヲ遺憾トス次期通常議會ニ於テ必ス提案スヘシ

報告書

一輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和七年六月十日

委員長 東 武

衆議院議長秋田清殿

報告書

一遠洋漁業獎勵法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和七年六月十日

委員長 東 武

衆議院議長秋田清殿

(東武君登壇)

○東武君 關稅定率法中改正法律案外二件ニ付キマシテ、委員會ノ經過並結果ヲ御報告申上ゲマス、此關稅改正ハ、今期議會ニ於テ相當重要ナモノデアリマス、又内容ガ非常ニ廣汎ニ互テ居リマスガ、巨細ナコトハ茲ニ一々説明ヲ申上ゲルコトヲ省キマス、大要ヲ申上ゲタイト考ヘテ居リマスガ、少シク時間ヲ拜借シナケレバナライノデアリマス、本委員會ハ六月四日ニ指名ヲ受ケマシテカラシテ、六回ニ互テ委員會ニ於テ審議ヲ重ネタノデアリマス、晝夜ヲ通ジテ慎重審議ヲ遂ゲマシタ、本案ノ内容ハ二十九品ノ稅率ヲ改正セントスルモノデアリマ

ス、是ハ從量稅トハ又別デアリノデス、特別ノ除外例デアリマス、即チ農産物ト致シマシテハ、小麦、高粱、玉蜀黍、「バター」、「コンデンスミルク」及「トグラスファア」等、木材ガアルノデアリマス、又化學工業品ト致シマシテハ、「パラフィン・ワックス」、「クロール・酸加里」、「カーボン・ブラック」、「ビッチ」及「アスファルト」道路修築用ノ「コイル・タール」、「ビッチ」又ハ「アスファルト」ノ製品ガアルノデアリマス、製鐵業關係品ト致シマシテハ、「鐵」、「ワイヤ・ロード」、「鐵線」、「リード・ワイヤ」、「バーブ・ド・ツイスト・ワイヤ」、「ローラー」及「ローラー」金屬製ノ「スクリュー」、「ローラー」及「ローラー」金屬製ノ「スクリュー」、又自動車工業品ト致シマシテハ、自動車ノ部分品、瓦斯機關、石油機關等ガアルノデアリマス、其他小麦粉、石絨製品「マグネシウム」安全剃刀ノ刃、貨幣、懷中時計部分品、陶器、扇「セリユロイド」ト云フヤウナモノガ入テ居ルノデアリマス、斯ノ如ク相當廣汎ナル範圍ニ互テ稅率ヲ改正セントスルノデアリマス

政府ノ説明ノ趣意ニ依リマス、大體ニ於キマシテ海外ノ輸入ヲ防遏シ、國內産業ヲ保護獎勵スルコト云フ、前大義內閣ノ産業立國主義ヲ踏襲シタモノデアリマシテ、一面農村ノ振興、重要産業ノ基礎確立ヲ目的トシテ居ルノデアリマス、右ノ物品ノ中デ最も熱心ニ論議セラレ、慎重ニ質疑應答ヲ重ネラレタモノハ、小麦、高粱、玉蜀黍、鐵鐵、自動車部分品及木材デアリマシタ、其詳細ニ付キマシテハ委員會ノ速記録ニ依テ御覽ヲ願フコト、致シマシテ、其中ノ最も重要ト認メル點ダケヲ、極ク簡單ニ御報告ヲ申上ゲタイト思ヒマス

鐵鐵ニ付キマシテハ、今度ノ關稅ノ引上中最モ重大ナル問題デアリマシテ、多年歷代ノ内閣ガ、鐵工業ニ對スル關稅ヲ引上ゲルト云フ問題ニ付テハ、相當ニ苦心ヲシテ、未ダ懸案トシテハ殘テ居タノデアリマス、此改正ニ付キマシテモ、種々ノ議論ガアルノデアリマス、大體ニ於キマシテハ、此改正ニ依テハ一部ノ資本家階級ノ利益ヲ保護スルノデアアル、一般消費者ニ負擔ヲ掛ケルモノデハナイカ、又今日マデ鐵工業ノ需要者ニ對シテハ、補助費ノ名目デ一噸六圓當リノ補助ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、此恩典ニ浴シナガラ、毫モ生産合理化ト云フコトヲ圖テ居ラナイ、政府ノ説明ニ依リマシテモ、一噸五十圓ナラバ固定資本ニ對シテハ相當デアルト云フノデアリマスルガ、今ノ五箇所バカリノ鐵工業ハ、一億萬圓以上ノ固定資本ヲ持テ、サウシテ三千万圓以上ノ社債ヲ持テ居ル、サウ云フヤウナ風ニシテ、尙ホ此製鐵ノ獎勵費ノ恩典ニ浴シ、又併セテ三割以上ノ高關稅ニ依テ、彼等ガ保護サレルト云フコトハ、消費者階級ニ對シテ非常ナ不合理ナ點ガアル、之ニ對シテ政府ノ所見如何ト云フコトガ、大體關稅改正案ノ委員會ニ於テ、連日質問應答ヲ重ネラレタ點デアリマス

又木材ニ付キマシテハ、委員中ニハ關稅改正ハ已ムヲ得ナイト致シマシテモ、幾ラ關稅ヲ上ゲテ内地山村其他ノ木材業ナドニ刺戟ヲ與ヘヨウトシテモ效果ガ餘リナイ、ソレハドウ云フ原因デアアルカト申シマス、云フト、五十九議會ニモ關稅ヲ改正ヲ致シ、又今回モ關稅ヲ更ニ三割五分改正ヲスルト云フコトニナルノデアリマス、改正ヲシテモ矢張内地ノ木材ハ殆ド無價値同様デアテ、生産費ハ一向價ハヌ、今農村ナドガ非常ニ窮迫致シテ居ルガ、此木材ハ日本ニ於キマシテハ重要ナル産業デアアル、又之ニ依テ衣食スル農家ノ副業其他ヲ併セルト云フト、農村ナドニハ多大ノ影響ヲスルノデアアルガ、關稅ノ作用ニ依テノミデハ、ドウシテモ救フコトハ出來ナイ、其最も大ナル原因ハ、樺太ト云フモノガアッテ、樺太島ノ經費ハ全部木材收入ニ依テ其財源ヲ求メテ居ル、故ニ毎年八百万石、一千万石ト云フ拂下ヲ樺太廳ガスルニモ拘ハラズ、内地ニ來ル樺太材ノ島外移出ハ殆ド一千万石ニ近イモノガアル、ソレニ依テ一般ノ内地ノ木材價格ト云フモノハ、其重壓ヲ受ケテ、到底價值ヲ引上ゲルコトガ出來ナイ、樺太長官ヲ呼び、拓務大臣ヲ呼ンデ、色々此點ニ付テ質疑ヲシテ見タノデアアルガ、樺太長官ノ言フニハ、今ノ狀態ヲ繼續スルト云フト、今後樺太ハ十箇年ニ於テ三億萬石以上ノ蓄積材ガ無クナッテシマフノダラウト云フコトヲ言テ居ル、國土ノ荒廢非常ニ甚シイモノガアル、同時ニ樺太材ハ八百万石乃至一千万石ノ拂下ヲシテ、其收入ヲ樺太經營ノ財源ニシテ居ルガ、一方ニハ其樺太材ノ拂下ヲシタヨリ倍額以上ノモノガ内地ニ出テ來ル、島内消費ト云フモノハ六七百万石モアレバ澤山デアアルガ、ソレガ樺太廳デハ百万石位ノ拂下ヲシテ、内地ニハ一千万石、多イ時ハ一千二百万石ノ材木ガ出ル、是ハドウ云フ譯デアアルカ、是ハ極メテ不合理デアアルガ、是ハ盜伐ガ行ハレテ居ル、斯様ナコトヲ其儘ニシテ置イテ、サウシテ全國的ニ山林企業者ガ皆疲弊困憊ヲシテ居ルト云フコトヲ見テ居テ、サウシテ唯關稅ノミヲ引上ゲテ、内地ノ木材業ニ相當ノ保護ヲシヨウナド、云フコトハ大ナル誤リデアアル、之

ヲドウスルノデアアルカト云フコトノ議論ガアリ、盛ニ質疑應答ヲセラレタノデアアリマシタガ、之ニ對シテハ政府モ相當ニ考慮スルト云フコトデ、政府——國務大臣ト致シテ、サウシテ永井拓務大臣カラシテ委員會ニ於テハ聲明書ヲ發シテ居ルノデアリマス、是ハ後デ御報告致シマス、又滿洲材ニ付キマシテモサウデアアル、滿洲ハ今ヤ新國家ノ承認ヲシヨウト云フマデニ、此全國的ノ氣運ガ漲リテ居ル場合ニ、滿洲所謂豆滿江、間島ノ此木材企業ハ、大抵内地ノ資本デ内地人ガ經營ヲシテ居ルノデアアル、之ニ對シテ茲ニ關稅ノ障礙ヲ設ケルト云フコトハ、餘リニ矛盾シタ政策デハナイカト云フコトノ質問ガ多クアツタノデアアル、之ニ對シテハ政府ハ、其點ニ付テハ今直チニ此關稅ヲドウスルコトモ出來ナイガ、近ク滿蒙及日本ノ經濟統制ヲ圖ル、此機會マデハ實ニ已ムヲ得ナイ、其場合ニハ相當滿蒙日本ノ經濟統制ヲシテ、ソレ等ノ緩和ヲ圖ル考デアルト云フ、斯様ナ答辯デアリマシタ

其外ニ自動車部分品ナドニ付キマシテモ、マダ日本ノ工業ハ自動車部分品トシテ國產ヲ獎勵シテモ、決シテ完全ナモノヲ產出スルコトハ出來ナイノデハナイカ、サウスレバ今現在「トラク」其他「バス」ト云フヤウナモノニ對シテ、非常ナ負擔ヲ加重スルデハナイカト云フ議論モアリマシタガ、之ニ對シテハ相當ニ基礎工業トシテ發達スル十分ナル見込ガアルト、斯ウ云フ政府ノ答辯デアリマシタ、尙ホ技術者ヲ呼ビマシテ、色々自動車工業ニ對シテモ研究ヲ致シマシタガ、矢張我國ニ國產トシテ將來相當ニ發達スル運命ニ達シテ居ルト云フコトハ、吾々モ委員諸君モ認メタ次第デアリマス

ス、故ニ此點ニ付キマシテモ、原案ヲ贊成スルノ已ムヲ得ザルモノガアツタノデアリマス

其外ニ此輸入稅ノ稅表中ニ定メラレテアリマスル所ノ從量稅、是ハ全部九百何品ト云フモノニ對シテ、當分ノ内百分ノ百三十五ニ相當スル所ノ稅率ヲ課スルト云フ案ニナツテ居ルノデアリマスルガ、從量稅率ヲ増加スルノ趣意ハ何處ニ在ルカト云フコトデアツタガ、是ハ三割五分ト云フ標準ハ何處カラ來テ居ルノデアアルカト云フト、是ハ外國爲替ノ相場ノ現勢ニ鑑ミテ、三割五分位ノ詰リ爲替關係ガ暴落致シテ居リマスルカラシテ、其程度ノモノヲ一律ニ引上ゲルト云フコトハ何等不合理ハナイト、斯ウ云フ說明デアツタノデアリマスルガ、今後外國爲替相場ノ現勢ニ鑑ミテ、輸入品ノ價格ガ騰貴ヲ免レナイ情勢ニアリマス、此場合ニ於テハ從價稅品ノ稅金額ガ増加致シマスルニ反シマシテ、從量稅品ノ稅金額ハ依然トシテ同一ノ定額デアアルカラ、從價稅率ト關係ヲ調節スル爲ニ必要デアルト云フノデアリマス、委員會ニ於キマシテ最モ論議ノ中心ニナリマシタノハ、從量稅率ノ増加ノ割合ト、例外ノ範圍トデアリマスガ、其詳細ハ委員會ノ速記録ヲ御覽ヲ願ヒタイ、此處ニハ其内ノ最モ重要ナルモノノ一端ダケヲ御報告申上ゲル次第デアリマス

ソレニ就キマシテ政府ヨリシテ斯様ナ聲明ガアリマシタ、此政府ノ意思ヲ代表スルト云ツテモ、單獨ニ國務大臣トシテノ聲明デナクシテ、政府トシテ連帶責任ノ上ニ立ツ國務大臣トシテノ聲明ヲ願ヒタイト云フコトデ、製鐵業ニ對シテハ政府ノ聲明ハ「現在製鐵業ノ徹底の整理及合理化ヲ圖リ、之レ

ヲ合同ニ導キ以テ生産費ノ低減ヲ期ス」ト云フコトヲ、中島商工大臣ガ國務大臣トシテ委員會デ聲明ヲ致シマシタ、又同じク國務大臣トシテ永井拓務大臣ハ「樺太材ノ伐採ニ就テハ政府ハ嚴重ナル監督取締ヲ勵行シ、其内地移入量ヲ相當制限スルニ努ムヘシ」是ハ同様政府ノ聲明デアリマス、又同じ委員會ノ同僚倉元委員カラシテ、採決ニ臨ミマシテ一ツノ決議ガ出テ居リマス「政府ハ本案實施ノ狀況ニ鑑ミ將來一層其ノ完壁ヲ期スルハ勿論特ニ從量稅ノ三割五分一律引上ゲノ内容ニ就テハ各品目ニ付完全ナル調査ヲ遂ケ稅率改正案ヲ次期通常會議ニ提出スヘシ」此決議案ヲ倉元委員カラシテ提出ニナリマシタ、是ハ採決ニ入りマシテ大多數ヲ以テ此決議ハ可決サレマシタ

又南洋材ニ付キマシテ、手代木委員カラシテ決議ヲ提出致シテ居リマス、此南洋材ニ付キマシテハ、極ク簡單ニ說明ヲ致シテ置キマスガ、委員會ニ於テハ南洋材ニ稅率ヲ課スルト云フコトハ、委員總體ノ意見デアツタノデアリマス、唯農林省ト、大藏省ト、拓務省トノ間ニ、調査委員ノ議ガ纏マラズシテ、此南洋材ダケハ保留ニナツテ居タノデアリマス、此南洋材ハ南洋カラ來ル「ラワン」材ト申シマシテ潤葉樹ノ代用ニナル樹デアリマスルガ、北海道ガ最モ此關係ガ多ク、内地一般ニ潤葉樹ト云フモノ、需要ハ漸次進歩シテ參リテ居ル、然ルニ南洋ニ於キマスル所ノ「ラワン」材ト云フモノハ、殆ド生産費ナシニ内地ニ入ッテ來ル、ソレニ付テ内地ノ潤葉樹ト云フモノハ、殆ド生産引合ハズシテ、企業ニナラヌト云フノガ、今日ノ狀態デアアル、サウシテ此内地ノ潤葉樹ノ石數ハ、殆ド七十億ト云フヤウナ巨額ノモ

ノガアルノデアアル、ソレデ之ニ從業シテ居ル者ハ十萬人——北海道ノミデモ十萬人以上ノ人ガ之ニ從事シテ、サウシテ冬季ノ職業ナドニナツテ居ル、所ガ南洋カラシテ入ッテ來ル爲ニ壓迫ヲ受ケテ、是等ノ者ガ漸次驅逐サレテ、南洋材ニ壓サレルト云フコトノ今日ノ狀況ニナツテ居ル、南洋ニアッテハ然ラバドウ云フ企業者ガアルカト云フト、南洋ニハ五人シカ企業者ガナイ、其内ノ三人ハ權利ヲ失脚シテ居リ、後ト二人、三菱ト三井ガ企業ヲ致シテ居ル、サウシテ一箇年ニ四五十萬石ノモノガ内地ニ入ッテ來テ居ルノデアリマスガ、三井、三菱等モ内地ニ於テ木材關稅ヲ課ケ、亞米利加材ニモ課ケ、南洋材ニモ課ケル場合ニ、特ニ南洋材ニ除外スルコトハ非常ナ不合理デアルト云フノデ、此企業者ノ最モ大ナル三井物產會社ナドハ、既ニ是ハ國家本位トシテ、南洋材ニ相當ノ稅率ヲ課ケルト云フコトハ當然デアアル、自分等ガ企業ヲ致シテ居ルデモ、是ハ國家ノ爲ニハ忍バナケレバナラヌト云フコトノ聲明書ナドヲ出シテ居ル、委員會ハ全會一致デアアル、サウシテ又前ノ五十議會ノ時ニモ農林大臣ハ既ニ議會ニ於テ、漸次南洋材ガ壓迫ヲスルト云フ場合ニハ、必ズ是ハ關稅ヲ課ケルト云フコトヲ致スト云フコトヲ、委員會ニモ言明ヲシテ居ル、又委員會ニ於キマシテハ五十九議會ニモ同じヤウナ希望決議ヲ致シテ居タ、所ガ今回矢張南洋材ト云フモノハ保留ニナツテ居ル、非常ニ不合理千萬デアリマスルガ、併シ之ヲ品目ニ於テ修正スルト云フコトハ到底短期間ニ許サナイ、其事情ガアリマシタ爲ニ遂ニ修正スルコトモ出來ナイデアリマシタガ、甚ダ國家ノ産業ヲ保護スル上ニ於テハ遺

億千萬ナノガアツタノデアリマシタガ、民政黨ノ手代木代議士カラシテ一ツノ決議案ガ出マシタ「南洋材ニ對スル課稅ハ政府部内ニ於テ詮議未了ノ爲保留セラレタルヲ遺憾トス次期通常議會ニ於テ必ス提案スヘシ」此附帶決議ガ出テ居リマス、採決ニ入リマシテ、鐵工業ニ對スル政府ノ聲明、同ジク樺太材ノ伐採ニ付テ制限ヲスルト云フ、矢張政府ヲ代表シタ國務大臣トシテ、永井拓務大臣ノ嚴格ナル聲明ガアリマシタ、之ニ依リマシテ遺憾ナガラ委員會ハ、之ヲ箇々ニ品目ニ付テ見マスト云フト、相當ニ無理ナモノモアルシ、又修正シナケレバナラヌモノガアリマシタガ、前申上ダタ如キ經過ニ依リマシテ、今此短期ノ間ニ、又産業計畫ノ我國ノ生産ヲ保護シ、各國ガ關稅戰爭ヲスル場合ニ、我國ダケガ開放シニシテ、サウシテ我國ノ産業ヲ絶滅ニ歸セシムルト云フコトハ出來ナイト云フ、非常ナ國家的大局ノ見地カラ、忍ビテ此關稅ノ二案ノ承認ヲ致スコトニナリマシタ、採決ノ結果トシテ全會一致可決致シタ次第デアリマス、此段御報告致シマス

又、モウ一案ハ、遠洋漁業獎勵法中改正法律案、是ハ遠洋漁業ノ獎勵法ハ明治三十年ノ制定ニ係リマシテ、時勢ノ推移ト事業ノ變遷ニ鑑ミ、改正ノ必要ガアツテ此提案ヲサレタモノデアリマシタガ、其内容ハ施行期間ヲ十九箇年延期スルト云フコト、獎勵金額ノ算出方法、船舶ノ評價額百分ノ十五以內トスルト云フコト、設備ノ種類、噸數等ニ變更ヲ加ヘタト云フコトデアリマシテ、我國遠洋漁業ノ發達ヲ期スル此遠洋漁業獎勵法ハ、其根幹ヲ成スモノデアリ、極メテ必要ナル改正デアルト信ジマシテ、

二三委員カラシテ質問ガアリマシタガ、汽船底曳網トカ、或ハ遠洋漁業ノ根據地ト云フヤウナ、重大ナ有益ナ質問ガアリマシタガ、政府モ之ニ對シテ明答ヲ與ヘ、委員會ハ全會一致ヲ以テ可決シタ次第デアリマス、以上委員會ノ經過デアリマスガ、三案ヲ通ジテ委員會ハ可決致シタ次第デアリマス、此段御報告申上ゲマス(拍手)

○議長(秋田清君) 是ヨリ討論ニ入リマス——小池四郎君

(小池四郎君登壇)

○小池四郎君 關稅ニ關シマスル政府提出ノ法案ニ對シマシテ、反對ノ意思ヲ表明致シマス、是カラ簡單ニ申上ゲマスル所ノ内容ハ、勿論私一個ノモノデアリマスルケレドモ、其骨子ニ至リマシテハ、第一控室所屬ノ大多數議員ノ一致スル所ダト云フコトヲ、御諒承願ヒタイト思フノデアリマス、勿論本法律案ニ於キマスル内容ハ、幾多ノ條項ガ多クアルノデアリマシテ、其中ニ於キマシテハ、反對スル必要ノナイ、贊成スベキ所ノ條項アルコトハ、私モ認メルノデゴザイマスケレドモ、法律案中最モ重要ナル所ノ二ツノ條項ニ付キマシテ、遺憾ナガラ贊成スルコトノ出來ナイ爲ニ、本案其モノニ反對ヲシナケレバナラナクナツタノデアリマス、此二ツノ條項ト云ヒマスノハ、今委員長カラノ報告ニモアリマシタヤウニ、鉄鐵ニ關スル所ノ關稅引上ノ問題デアリマス、モウ一ツハ滿洲ノ木材ニ關シマスル所ノ、關稅ノ引上ノ問題デアリマス、此二ツノ點ニ付キマシテ、私共ハ政府ノ所見ニ贊成スルコトヲ得ナカッタノデアリマス、木材竝ニ特ニ鉄鐵ニ付キマシテハ、日本内地又特ニ滿洲ニ於キマスル所ノ鉄鐵事業ノ

發展ノ上ニ、非常ナ大キナ影響ヲ持ツモノト私共ハ信ズルノデアリマス、言フ迄モナク滿洲ニ於キマスル所ノ産業ノ發達ハ、大體ニ於テ原料産業ノ發展ニ俟タナケレバナラナイト信ズルノデアリマス、又今後ニ於キマスル日本内地ニ於ケル所ノ産業ノ發展ハ、滿洲原料ヲ出來得ル限リ容易ニ内地ニ輸入スルコトニ存シテ居ルト、私共ハ信ズルノデアリマス、勿論鉄鐵ノ問題デアリマスガ、鉄鐵ノ關稅ノ引上ヲ致シマスルナラバ、鋼材其他鐵製品ノ價格ト云フモノハ、當然上ラナケレバナラナイ、鋼材鐵製品ト云フモノ、今日日本ニ於キマスル産業ハ、生絲、綿絲布ノ輸出ニ次ギマスル所ノ、重大ナル輸出項目デアルト信ズルノデアリマス、ソレニ對スル惡影響ト云フモノハ、相當大キナモノガアルト云フコトヲ考ヘラレルノデアリマス、私共勿論日本内地ニ於キマスル所ノ鉄鐵工業ノ、製鐵業ノ確立擁護ト云フコトニ付テハ、何等ノ異存ハナイケレドモ、今日ノ鉄鐵事業ト云フモノガ、斯ノ如ク不振ニナリマシテ、國家ノ保護ヲ俟タナケレバ立行カクナツタト云フコトハ、他ニ大キナル原因ガアルト云フコトヲ知ツテ居リマス、從來ニ於キマスル所ノ關稅獎勵金、或ハ今日ニ於キマスル所ノ爲替低落カラ來マスル所ノ影響ダケニ依ツテ、既ニ今日ノ製鐵業ノ保護ハ、十分デアルト私共ハ信ズルノデアリマス、是レ以上ノ保護ト云フモノハ、確立ノ爲ノ手段ト云フモノハ、日本ノ鉄鐵業或ハ製鐵業ノ經營ノ誤レル點、現ニ衰弱シタ點ヲ建直ス以外ニハナイト、私共ハ信ズルノデアリマス、勿論滿洲ノ鉄鐵ヲ日本内地ニ輸入スル、或ハ滿洲ノ木材ヲ日本内地ニ輸入スルト云

フコトニ付テハ、幾分カ或ハ或ル程度ノ内地産業、當該産業ニ對シマスル所ノ惡影響、打擊犧牲ト云フモノハ覺悟シナケレバナラナイト、私ハ信ジテ居リマスガ、此打擊ト犧牲トヲ最小限度ニ始末シテ、日滿ノ間ノ産業ノ統制ヲシナケレバナラナイノデアリマスガ、其爲ニ斯ウシタヤウナ打擊犧牲ヲ、最小限度ニ處置スルト云フコトガ、今日國民一般カラシテ、今日ノ齋藤内閣ガ爲サナケレバナラナイ重要ナ任務トシテ謂ハレテ居ル所ノ、統制經濟ノ確立ト云フモノハ、其處ニ私共ナケレバナラナイト思フノデアリマス、併シ今日私共委員會ニ出テ聽キマスル所ニ依リマスレバ、今日ノ政府ニハマダ對滿經濟計畫ニ對スル確乎タル所ノ方針ヲ持ツテオキデニナラナイ、サウ云フ點ニ付テ私共ハ、今日ノ關稅改正案ニ付テ反對ヲシナケレバナラヌノデアリマス、政府ノ聲明スル所ニ依リマス、對滿經濟關係ハ、經濟上或ハ國際關係上、事極メテ重大デアラルカラ、今日マダ確立スルノ機會ニ達シテ居ナイト云フコトヲ申シテ居リマスガ、然ラバ此對滿經濟關係ノ方針ガ確立スルマデ、斯ノ如キ所ノ關稅引上ゲヲ待ツ所デ遲クハナイト、私共信ズルノデアリマス、而シテ又滿洲木材ニ對シテハ、殊ニサウデアリマスガ今回ノ關稅引上ゲノ主ナル原因ガ、爲替低落カラ來テ居ルト云フコトヲ聞キマスガ、滿洲ニ於ケル大多數ノ木材ト云フモノ、内地ニ輸入サレル木材ナルモノハ、別ニ爲替低落ノ影響外ニ在ルト云フコトハ、明ナ事實デアリマス、豆滿江附近ニ於ケル間島方面ニ於ケル木材取引ハ、一切日本金ニ於テ大部分ヤラシテ居ルト云フコトヲ信ジテ居リマスガ、然ラバ爲替低落ノ影響ノ範

國外ニアル所ノ物品ト云フコトガ出來ルノ
デアリマス、斯ウ云フ物ニ關稅引上ゲテ爲
スコトハ、折角滿洲ガ斯ノ如ク有利ニ産業
ガ發達シヨウトスル時ニ、鐵業ニシテ根ヲ
枯ラス所ノ方法ナリト私共ハ信ジテ居リマ
ス、又鐵業ニ關シマシテモ、鐵業ノ關稅ヲ
引ゲマス所ノ重大ナル動機ト言ハレマス
モノハ、印度鐵業ノ輸入ヲ防遏シナケレバ
ナラヌト云フ點ニ在ルト聞イテ居リマス、
ダガ引上ゲノ動機ノ如何ニ拘ラズ、事實ニ
於テハ今日ノ關稅引上ゲト云フモノガ、滿
洲產ノ鐵業ノ輸入防遏ニナル結果ヲ如何ト
モスルコトガ出來ナイノデアリマス、敵トナ
リマス所ノ印度鐵業ト云フモノハ、大シタ
輸入量ハナイノデアリマシテ、逐年輸入ガ
遞減シツ、アル事實ハ、統計ノ示ス所デア
リマス、然ルニ拘ラズ、反對ノ現象トシテ
滿洲カラ内地ニ入リマス鐵業輸入高ト云フ
モノハ、逐年増加ノ傾向ニアルノデアリマ
ス、結局ニ於テ——結果ニ於テ其動機ガ如
何デアリマセウトモ、今日ノ關稅引上ゲト
云フモノガ、滿洲鐵業ノ輸入防遏ナルコ
トハ、明ナリト私共考ヘテ居ル、若モ此關
稅引上ゲガ實現サレルト云フニナリマスレ
バ、滿洲ノ鐵業ハ入り惡クナルト云フ結果
ニナリマシテ、日本内地ニ於キマス鐵業
ノ市價ト云フモノハ、三井、三菱並ニ淺野、
特ニ三井、三菱兩系統ノ鐵業者、又販賣
業者ニ、市價ヲ左右スル獨占權ヲ持タセナ
ケレバナラヌ結果ニナルト思フノデアリマ
ス、而シテ中島商工大臣ノ言ニ依リマスレ
バ、製鐵合同ニ邁進シナケレバナラヌト仰
シヤッテ居ル、製鐵業ノ合同ヲスルト云フ
コト、サウシテ生産費ノ低減ヲ御圖リニナ
ルト云フコトハ結構デハアリマスケレド

モ、製鐵業ノ合同、是レ即チ鐵ニ殘サレタ所
ノ三井、三菱系ノ製鐵業者ノ獨占「カルテ
ル」ノ結成トナラザルヲ得ナイノデアリマ
ス、サウ致シマスナラバ、今日最モ猛威ヲ
振テ居ル所ノ獨占資本ノ確立擁護ニ、
此關稅引上ゲガナルト云フコトナラバ、私
共ハ斷ジテ贊成スルコトガ出來ナイト思
フ、鐵ニ殘サレタ滿洲ノ鐵業、此鐵業ニ依
テ、日本ノ鐵業ノ市價ガ幾分調節サレル所
ノ作用ヲシテ居ルノデアリマスガ、此滿洲
鐵業モ矢張其販賣權ハ三井、三菱系ノ商事
會社ノ手ニ大多數ハ握ラレテ居リマス、然
ラバ結局此關稅引上ゲノ結果、鐵業ノ市價
ト云フモノガ、一部ノ人ニ依テ動カサレ
テ行クト云フコトヲ、拒否スルコトノ出來
ナイ結果ニナルト思ヒマス、今日關稅ノ引
上ゲノモウツノ原因ニナッテ居リマス所
ノ、日本製鐵業ノ不振ト云フモノ——衰弱
ト云フモノ、原因ハ決シテ關稅ノ如何ニアル
ノデハナクシテ、製鐵業其モノニ大キナ缺
陷ノアルコトハ、明ナ事實デアリマス、今
日日本ノ大キナ製鐵業者デアリマス釜石、
或ハ輪西、兼二浦ト云フヤウナモノハ、是
ハドノ位ナ生産高ヲ有ッテ、其生産高ニ對シ
テ如何ナル資本金、借入金ヲ有ッテ居ルカト
ト云フコトヲ見マスルナラバ、明ニ今日ノ
日本ノ製鐵業其モノヲ、合理化サレタル所
ノ正シイ事業ナリト認メルコトハ出來ナイ
ノデアリマス、此三ツノ製鐵業者ノ資本金
竝ニ借入金ハ、一億數千萬圓ト聞イテ居リ
マス、其產出スル生産高ハ僅ニ三十五萬噸
デアリマス、若シ今日新ニ斯ノ如キ生産能
力ヲ有ツ所ノ製鐵工場ヲ造ラウト致シマス
レバ、昨日委員會ニ於テ政府當局カラ八幡
製鐵所デ新シク建設スル所ノ、製鐵工場ノ

工事費ノ計算表ヲ戴イタノデアリマスル
ガ、ソレニ依テ換算致シマスルナラバ、僅
ニ一千六百萬圓デ以テ三十五萬噸ノ生産ヲ
爲シ得ルノデアリマス、今日一千六百萬圓
デ以テ出來上リマス工場ガ、今日ノ日本
製鐵業者トシテ一億數千萬圓ノ資本金ト、
借入金ヲ以テヤッテ居ルト云フコトガ、日本
ノ製鐵業者ノ事業不振ニ陷ル唯一絶對ノ原
因ナリト私共ハ考ヘマス、此事實ヲ無視シ
テ、關稅ノ引上ゲニ依ッテ此製鐵業ノ不振
ヲ取戻サウトスル所ニ、私共ハ大キナ矛
盾ガアルト考ヘテ居リマス、結局此意味
ニ於キマシテ、斯ノ如キ狀態ニ於テ獎勵
金モ既ニ與ヘ、關稅モ引上ゲラル、ト云フ
コトニナリマスシラバ、其金ハ一體何處ニ
行ク、間接ニハ色々ノ方面ニ行キマスケレ
ドモ、最後ノ途ハ此莫大ナ借入金、莫大ナ
無用資本ヲ有ッテ居リマス、其元締デアル金
融資本ヘト、此關稅引上ゲニ依ル保護金ガ流
レテ行ク以外ニハナイノデアリマス、今日
ノ關稅引上ゲガ幼稚産業ヲ育成スル關稅デ
アリマスレバ、私共ハ反對スル理由ハナイ
ト思ヒマス、ケレドモモウ斯ウ云フ風ニ行
詰ツタ擧句ニ、衰弱シ切ッタ日本ノ産業ヲ擁
護シ、サウシテ結果ニ於テハ其産業ノ後ニ
在リマス所ノ、金融大資本ヲ露ス關稅ニ變
テシマツタナラバ、此關稅ハ國民生活ノ上カ
ヲ見マシテ、斷ジテ贊成スルコトノ出來ナ
イ關稅政策ダト謂ハザルヲ得ナイノデアリ
マス、丁度今日ハ御承知ノヤウニ、外ニハ
農民モ市民モ生活窮乏ノドン底ニ在リマシ
テ、倒レヨウトシテ居ル時デアリマス、議
會モ政黨モ一切ヲ擧ゲテ、此重大ナル問題
ノ解決ニ狂奔シテ居ル時ナノデアリマス、
斯ウ云フ重大ナ時ニ當リマシテ、斯ノ如キ

意味ニ於テ徒ニ鐵業ノ關稅ヲ引上ゲテ、銅
材、鐵製品ノ市價ヲ高メマスト云フコト
ハ、斯ノ如ク苦シデ居リマス農民ノ鍋釜ノ
値段ヲ、上ゲルト云フコトヲ覺悟シナケレ
バ出來ナイコトデアリマス、是ハ私共議會
トシテ忍ビ難イ結果デアルト言ハザルヲ得
ナイ、サウシテ逆ニ其金ハ三井、三菱系ノ
製鐵所、續イテ銀行ノ中ヘト流通シテ行キ
マスルナラバ、國民生活ヲ擁護シナケレバ
ナラナイ今日ニ於テ、斷ジテ是ハ贊成スル
コトガ出來ナイト思ヒマス、而シテ又國民
ノ血ヲ以テ最近確保致シマシタ滿洲ノ權益
ヲ、經濟的ニ拋棄シテ顧ミナイヤウナ關稅
政策ニ對シマシテハ、是レ亦私共ハ反對シ
ナケレバナラナイト思フノデアリマス、簡
單ナガラ反對ノ意見ヲ申述ベマシテ、私ノ
責ヲ塞ギタイト思ヒマス
○議長(秋田清君) 武田德三郎君
(武田德三郎君登壇)
○武田德三郎君 私ハ只今提案ニナッテ居
リマス關稅ニ關スル二ツノ法律案ニ對シ、
委員長ノ報告通り、即チ二ツノ希望決議ヲ
添ヘテノ原案ニ贊成ヲ致ス者デアリマス、
吾々政友會ハ皆様大體御承知置キノ通り今
日ノ世界ノ經濟ノ趨向ニ鑑ミマシテ、我國
ノ經濟政策ノ基調ヲ統制經濟、又ハ計畫經
濟ニ置カナケレバナラヌト云フ意見ヲ有ッ
テ居ル者デアリマス、此經濟政策ノ基調カ
ラ致シマシテ、既ニ一兩年前カラ産業五箇
年計畫ト云フモノヲ世ノ中ニ發表ヲ致シテ
居ルノデアリマス、吾々ハ此産業五箇年計
畫ヲ實現スル爲ニハ、種々ナル經濟的手段
ヲ執ラナケレバナラヌト信ジマスルガ、其
中ニ關稅ノ手段ト云フモノハ、最モ有效ナ
ル手段デアルト考ヘテ居ル者デアリマス、

斯様ナル見地カラ、吾々ハ此度發案セラレマシタル關稅ノ改正案ニ賛成ヲ致ス者デアリノデアリマス、仍テ吾々ノ議論ノ基調ヲ簡單ニ申上ゲテ、賛成ノ理由ニ致シタイト思フノデアリマス

今日世界ノ經濟上ノ趨勢ト云フモノハ、私ガ今敢テ茲ニ事々シク説明ヲ申上ゲルマデモナク、世界ヲ舉ゲテ關稅戰爭ニ没頭シテ居ルト云フ有様デアリマス、總テノ國ハ關稅障壁ヲ設ケテ、自己ノ國內ノ市場ヲ完全ニ自己ノ國民ニ保ツヨウニ努メテ居ルト云フコトハ現實ノ事實デアリマス、從來各國ガ經濟的ニ爭テ居タコトハ、所謂帝國主義ノ思想ヨリ爭テ居ルト言ハレタノデアリマスガ、今日ハ帝國主義ノ思想カラ經濟上ノ爭ヲシテ居ル國民ト云フモノハ、世界ニハ恐クハナカラウト思ヒマス、今日ハソレヨリ一步ヲ進メテ、國民經濟ヲ確立スルト云フ趣旨カラ、經濟上ノ決定的ノ爭ヲ今日ハ續ケテ居ルト云フコトハ、世界經濟上ニ於ケル所ノ各國民ノ實情デアリマス、即チ何レノ國ノ實情ヲ見マシテモ、皆其市場ヲ保タンガ爲ニハ、有ユル經濟的ノ手段ヲ執ルト同時ニ、又此關稅ノ障壁ヲ出來得ルダケ、殆ド禁止關稅ニ等シキヤウナ障壁ヲ設ケテ居ルト云フコトモ、是亦事實デアリマス、而モソレハ從來ノ帝國主義ノ爭ト違ヒマシテ、小國マデモ總テガ今日其狀態ヲ續ケテ居ルト云フコトモ、亦爭ヒ難キ事實デアリノデアリマス、先ヅ此一二ノ例ヲソレニ取テ見マスルナラバ、御承知ノ如クニ英國ハ自由貿易ノ祖國ト謂ハレテ居タ國デアリマス、然ルニ戰爭ノ終ハルト程ナク、千九百二十二年ニ於キマシテ、所謂産業安全法ト稱スル所ノ保護關稅法ヲ

設ケテ居タノデアリマス、而モ有ユル品目ニ互リマシテ三割三分ト云フヤウナ高率ノ課稅ヲ致シテ居タノデアリマス、併シ其時ハ是非常特別稅ナリト稱シテ、期限ヲ三箇年ヲ附シテ居タノデアリマスガ、ソレガ期限ノ前年千九百二十五年ニ於キマシテ、更ニ第二ノ工業安全法ナルモノヲ制定致シマシテ、之ニ輪ヲ掛ケタヤウナ保護關稅法ヲ確立致シテ、而モ其實施ノ期限ヲ十箇年ト致シタノデアリマス、又更ニソレニ尙ホ甘ンゼズシテ、昨年ノ十一月御承知ノ如クニ商相「ライヒマン」ノ手ニ依テ、所謂十割關稅ナルモノガ成立ヲサレテ、今現ニソレガ實施サレテ居ルト云フヤウナ狀態ニナタテ居ルノデアリマス、其他佛蘭西ニ於キマシテモ、英吉利ノ金再禁止ニ伴フ爲替ノ下落ヲ防止スルト稱シテ、一割五分ノ附加稅ヲ課ケ、程ナク更ニ一般的ノ關稅増徴ノ法案ヲ實行致シテ居ルト云フ狀態デアリマス、又亞米利加ノ如キニ至テハ、私ガ多クヲ申上ゲル迄モナク、元來高率保護關稅ヲ以テ有名ナ國デアリマス

斯ノ如ク何レノ狀態ヲ見マシテモ、總テ關稅ニ依テ自國內ノ市場ヲ外國ニ向テ之ヲ遮斷シテ、自己ノ國民ニ之ヲ保護シヨウト云フ狀態ガ、最モ著シク現ハレテ居ルノデアリマス、而モ亞米利加ハ亞米利加トシテ、南米モ包含シテ「經濟「ブロック」ヲ作ラント計畫致シテ居ルト云フコトハ、是モ明白ナ事實デアリマス、又歐羅巴ニ於キマシテハ、所謂「ブリアン」ノ歐羅巴合衆國ト云フモノヲ造テ、歐羅巴ヲ一ノ經濟單位ノ「ブロック」トシテ、此間ニ經濟上ノ存立ヲ圖ラウト致シテ居ルコトモ明白ナ事實デアリマス、又露西亞ハ、アノ廣大ナル地域ヲ以テ、所謂極端ナル計畫經濟ヲ行テ、自己ノ國民的經濟ヲ確立セントシテ莫搔イテ居ルト云フコトモ、是亦現實ノ事實デアリマス、更ニ英吉利ハ所謂帝國特惠關稅ト云フモノヲ設ケテ、其廣大ナル植民地ヲ連ネテ、茲ニ一ノ經濟「ブロック」ヲ作ラント致シテ居ルノデアリマス

斯様ナル場合ニ於テ、我ガ帝國ハ何ヲ以テ我ガ國民經濟ヲ擁護スルデアリマセウカ、幸ニモ滿洲ノ問題ガ御承知ノ如キ狀態ニ好轉致シテ來マシテ、今ヤ滿蒙ト我國ガ一ツノ經濟「ブロック」トシテ存立セントスル、洵ニ喜バシキ狀態ニ今日ハ進ンデ居ルノデアリマス、故ニ吾々ハ此經濟「ブロック」ヲ飽マデ擁護シテ、我國ノ産業ヲ發達セシムルダケノ事ヲシナケレバナラスト云フコトハ、世界的ノ經濟ノ趨向ニ鑑ミテ、何人モ異論ノアルベキ筈ガナカラウヤニ私ハ考ヘル者デアリマス、斯様ナル意味合カラ、吾々ハ所謂産業五箇年計畫ナルモノヲ樹タノデアリマス、而シテ此計畫タルモノハ、外國カラ輸入サレテアル内、昭和四年度ノ計算ニ於キマシテ約六億圓ニ相當スル所ノ輸入品ハ、我國ニ於テ十分生産シ得ルモノデアリ、故ニ之ヲ相當ノ補助——助長ヲ致シマスルナラバ、我國ニ於テ此最モ必要ナル品物ヲ、自給自足スルコトノ出來ルト云フノガ、大體ノ計畫デアリノデアリマス、此計畫ニ依リマシテ、吾々ノ見ル所デハ此六億圓ノ中、是ハ昨年ニナリマシテ、大體ニ於テ三億圓程度ノモノニナラウト考ヘルノデアリマスガ、是ハ商工省ノ産業合理局ニ於テ調査シタル所ノモノモ、我ガ政友會デ調査致シタルモノト、略、一致致シテ居ルノデアリマス、而シテ此産業五箇年計畫ヲ實現致シマスルノニハ、吾々ノ見ル所デハ、三十七種ノ外國カラノ輸入品ヲ、關稅ノ手段ニ依テ防護致スナラバ、關稅ノ手段ノミトハ申シマセスガ、其主ナル方法ヲ關稅ノ手段ニ依テ之ヲ保護致シマスルナラバ、遠カラザル中ニ輸入ハ杜絶スルコトガ出來ルト云フ目算ハ樹テ、居ルノデアリマス、斯様ナ見地カラ考ヘテ見マスルト云フト、私共ハ大體ニ於テ此度提案セラレマシタル所ノ此關稅改正案ハ、先ヅ妥當ノモノト考フル譯デアリノデアリマス、唯併ナガラ之ヲ其内容ニ立至テ色々精査致シテ見マスルト云フト、先程委員長ヨリ御報告ノアリマシタ如ク、之ヲ少シモ缺點ガナイトハ言ハレナイノデアリマス、之ヲ玉成致シマスルノニハ、相當ノ考慮ヲ費スベキ必要ガアルデアラウト思ハレルノデアリマス、左様ナ意味合ニ於テ、アノ附帶ノ希望決議ト云フモノヲ決定致シタノデアリマスルガ、當局モ亦吾々ト其所見ヲ同ジウスルト云フコトヲ、其答辯ニ於テ承テ、吾々ハ満足ヲ致シテ居ル次第デアリマス、今此點ニ對シテ第一控室ノ小池四郎君カラ、鐵道ニ木材ノコトニ對シテノ御論ガアリマシタガ、私モ大體小池君ノ御議論ガ適當デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、即チ製鐵ノコトニ對シマシテハ、合理化ガ未ダ十分デナイ、更ニ一層是ガ合理化ヲ厲行致シマシテ、生産費ヲ低下スルト云フコトニ努メナケレバナラスト云フ御論ニ對シテハ、私モ全く同感デアリマス、併ナガラ、此鐵鐵ヲ、關稅ヲ以テ保護スルト云フコトニ依テ、日本ノ財閥ヲ擁護スルモノナリト云フヤウナ斷定ノ下ニ、本案ニ反對ヲ爲サルト云フコトハ、私ニハドウシテモ其趣旨ガ明デ

ナイノデアリマス、今日日本ノ製鐵ヲ壓迫シテ居ルモノハ、御承知ノ如クニ印度ノ鐵デアリマス、是ハ數字ノ上ニ明白ニ現ハレテ居ル事柄デアリマス、現ニ委員會ニ於テモ、此印度ノ鐵鐵ト我國ノ鐵鐵ノ生産費ノコトニ對シテ、色々質問應答ヲ重ネマシタガ、政府ノ説明ニ依リマスレバ、我國ノ現在ニ於テノ鐵鐵ノ一噸當リノ生産費ハ、三十五圓幾ラト云フコトデアリ、印度ノ鐵鐵ノ生産費ハ、日本ヘ到著シテ沖渡シノ計算ニ於テ二十五圓幾ラ、約二十六圓デアアルト云フコトニ相成テ居ルノデアリマス、然ラバ我國ノ鐵鐵ニ對シテ相當ノ補助ヲ與ヘルカ、然ラズンバ保護關稅ヲ以テ之ヲ保護スルト云フコトハ、何等ノ不思議ノナイコトデアアルノデアリマス、現ニ印度ハ御承知ノ如ク、先程申上ゲマシタ英吉利大帝國ノ經濟「ブロック」トシテ、特惠關稅ヲ設定致シテ居リマスルガ、其特惠關稅ニソレヲ作用致シマシテ、我國ノ重要産業タル綿絲、綿布ニ向テ高率ノ課稅ヲ致シテ居リマスルノデ、我國ノ綿絲、綿布ハ印度ニ輸出スルコトニ於テ、大ナル障礙ヲ與ヘラレテ居ルト云フコトハ、世間周知ノ事實デアリマス、併ナガラ我國ニ於テハ印度ノ鐵鐵ノ爲ニ、我國ノ工業ノ基礎トナルベキ最モ——所謂「キーイングダストリー」ト言ハレル此製鐵業ガ、印度ノ鐵鐵ノ爲ニ脅威ヲ受ケルト云フコトニ向テ、吾々ガ相當ノ經濟的手段ヲ執ルト云フコトハ、何等差支ナイコトデアアルト云フコトハ、唯小池四郎君ノ言ハレル如クニ、餘リニ關稅ト云フモノハ、其率ガ高過ギルト云フト、其恩惠ニ狃レ易クシテ、合理化ヲスルト云フコトノ熱心ガ少クナルト云フコトハ、是ハアリ得ル事柄

デアリマス、故ニ吾々モ此點ニ向テ今希望決議ヲ附シタノデアリマス、左様ナル理由ノ下ニ此嚴格ナル希望決議ヲ附シマシテ、當局モ亦誠意ヲ以テ必ズ實行スルト云フコトヲ吾々ニ確約致シタノデアリマス、又滿洲ノ鐵鐵ガ、此爲ニ非常ニ脅威ヲ受ケルデハナイカト云フ御論モ、是モ一應御尤デアリマス、吾々モ此點ニ於テハ、非常ニ憂ヲ有テ居ルノデアリマシテ、政府當局ニ、此點ニ付テ如何様ノ處置ヲ執ルカト云フコトヲ、嚴密ナル意味ニ於テ質問ヲ試ミタノデアリマス、政府ハ之ニ對シテ滿洲ノ鐵鐵ニ向テハ、相當考慮スルノ必要アルコトヲ認メ、來ルベキ議會ニ於テ相當ノ豫算ヲ提出シテ、滿洲ノ鐵鐵ト日本ノ鐵鐵ト間ニ、統制經濟ノ見地カラ適當ナル保護ヲ與ヘ、適當ナル調和ヲ取ルノ手段ヲ必ズヤ實行スルト云フコトヲ、吾々ニ言明ヲ致シテ居ルノデアリマス、政府當局ガ既ニ斯様ナ確約ヲ吾々ニ致シタル以上ハ、吾々ハ之ヲ信頼スルト云フコトハ、決シテ不都合ナルコトデモナカラウカト思フノデアリマス、而モ一面ニ於テハ、今日世界ノ經濟的ノ競争ト云フモノハ、洵ニ劇甚ナ極メテ、一日モ緩ウスベカラザルノ狀態ニナッテ居ルノデアリマス、吾々ハ先程申上ゲタ如ク、産業五箇年計畫ヲ樹テ、之ヲ實施セントシテ居ルノデアリマスカラ、其一日ヲ空費スルト云フコトハ、吾々ノ計畫ガ直チニ年限ノ上ニ於テ重大ナル齟齬ヲ來スコトニナルノデアリマス、故ニ吾々ハ此一箇年ヲ空費スルト云フコトハ、到底此儘ニシテ打捨テ、置クコトノ出來ナイ事柄デアリマスカラ、先ヅ以テ多少ノ不完全ナ點ガアルト致シマシテモ、之ヲ玉成スルノ見込ガ十分立チマスル

ナラバ、先ヅ根本的ノ手段ニ依ッテ、經濟政策ヲ遂行スルト云フコトニ努メルコトガ、當然ノ事デアルト、吾々ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、斯様ナル意味合カラ、吾々ハ此關稅政策ニ贊成ヲ致スモノデアリマス、又滿洲材ノ事ニ對シテ、小池君ノ御話ガアリマシタガ、是モ私ハ大體ニ於テ同感デアリマス、私モ既ニ委員會ニ於テ、此點ニ付テ政府當局ニ質問致シタノデアリマス、殊ニ豆滿江材ニ至リマシテハ、殆ド朝鮮人ノ事業デアルト云フ事實ヲ承知致シテ居ルノデアリマス、故ニ是ハ何カ特殊ノ考慮ヲ要スル問題デナカラウカト云フ意味ニ於テ、今小池君ガ言ハレタト殆ド同一ノ意味ニ於テ、政府ニ質問ヲ致シテ見タノデアリマス、之ニ對シテ政府當局ハ、滿洲ハ遠カラズ完全ナル國家トシテ、我國ガ之ヲ對手ニ何等カノ經濟的ノ交渉ヲ進ムベキ時期ニ達スルト思フカラ、其近キ將來ニ於テ滿洲國ト經濟的ノ交渉ヲ進ムベキ時期ヲ見計ッテ總テ滿洲ト我國トノ統制經濟ノ上ニ根本的ノ方針ヲ確定スル積リデアアルカラ、ソレ等ノコトハソレマデ暫ク待テ吳レト云フ言明ガアッタノデアリマス、吾々ハ此言明ヲ信ジテ、此滿洲材ニ付テモ多少ノ不安ガアリマスケレドモ、先程委員長ヨリ報告ノ希望決議ノ中ニ同ジク吾々ノ此希望ヲ含メタ意味ニ於テ此點モ看過致シテ居ルノデアリマス、大體今申上ゲマシタル如ク、吾々ハ日本ノ産業政策ノ根本カラ考ヘテ見マシテ、關稅政策ニ依ッテ我國ノ産業ヲ確立シ、更ニ之ヲ發達助長セシムルト云フコトハ、一日モ猶豫スベカラザルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、斯様ナ意味合ニ於テ吾々ハ本案ニ原案ノ儘贊成ヲシテ、更ニ此實施ノ結果

ニ願ミテ、來ルベキ通常議會ニ於テ相當ノ考慮ヲ政府ハ加ヘラレタ上、適當ナル修正ナリ、或ハ更ニ別種ノ改正案ナリヲ提出セラレンコトヲ希望シテ本案ニ贊成ヲ致ス次第デアリマス（拍手）
○議長（秋田清君） 永田善三郎君
（永田善三郎君登壇）
○永田善三郎君 諸君、本員ハ只今上程サレテ居リマスル三案ニ對シマシテ贊成ノ意見ヲ表示スルモノデアリマスルガ、議場ノ空氣ニ鑑ミマシテ成ベク簡單ニ申述ベタイト思ヒマス、議題ハ三案デアリマスガ、私ハ先ヅ第一ニ遠洋漁業獎勵法中改正法律案ニ付キマシテハ、委員長報告ノ通り何等ノ意見ヲ申上ゲマセズ贊意ヲ表スルモノデアリマス、關稅定率法ノ一案ニ付キマシテハ、其一ツノ從量稅三割五分ヲ一律ニ引上ゲルト云フ案ニ付キマシテハ、吾々ハ幾多ノ疑問ノ點ヲ有ッテ居ルノデアアル、當議場ニ於キ、又豫算總會ニ於キ、又關稅委員會ニ於キ、各方面ニ於キマシテ三割五分ト云フ見積ヲ出シタ、其爲替ノ下ルト云フコトニ對スル政府ノ所見ヲ質シテ居ルノデアリマスルガ、大藏大臣ハ爲替ガ上ルカ下ルカ分ラナイ、ソナコトハ俺ノ知ッタコトヂヤナイ、資本ノ海外逃避ヲ防止スルコトモ爲替ノ安定ヲ圖ル意味デハナイノデアアル、故ニ三割五分ニナルカ、三割ニナルカ、四割ニナルカ、ソナコトハ關係ガナイト云フ御意見デアリマスカラ、洵ニ此基礎ガナイノデアリマス、併ナガラ左様ナコトヲ今日論議ヲ致シテ居リマシテモ、到底此短カイ期間ニ吾々ガ審議ヲ盡スコトハ出來マセヌノデ、先ヅ此非常特別ノ内閣ガ出來タ際デアアルカラ、此内閣ノ御土産ノ積リデ此案ニ

暫定のニ贊成ヲシヨウ、斯ウ云フコトガ民政黨ノ大體ノ意見デアリマス

其次ニハ二十九品目ノ各品目ニ付キマスル稅ノ盛リ方デアリマス、是モ仔細ニ見マシテ必シモ適當トハ私共ハ思ヒマセヌ、殊ニ農産品等ニ付キマシテ無暗ニ關稅收入ノミ上ゲテ、是デ行ケルト云フヤウナ御觀測ニハ私共ハサウ共鳴ヲシナイ、併ナガラ本案ノ二十九品目ニ付キマシテモ、中々短カイ期間デ十分ナル審議ヲ致シテ居ル暇ガナイノデ、是モ大體ニ於テ贊意ヲ表スル譯デアリマスルガ、只今無產黨ノ小池君ノ意見ニ對シマシテ政友會ノ武田君カラ御反駁ガアリマシタノデ、是モ大要濟ンデ居リマスルガ、其中デ吾々ガ本案ニ贊成スルニ至リマシタ中ニ、一二私共ト所見ヲ異ニシテ居ル點ガアル、ソレハ第一ガ先ヅ木材關稅デアリマスルガ、豆滿江方面ノ木材ニ課稅スルコトガ宜イト云フ意見ノヤウニ受取りマシタガ、私共ハ左様ニハ信ジテ居ラナイ、是ハ別ニ深クハ論ジマセヌガ、アノ邊ノ貨幣制度ノ實情ヲ御承知ニナレバ直チニ解決ノ出來ルコトデアリマス、又滿洲ノ鐵鐵ノ問題ニ付キマシテ色々ト小池君ノ御意見ガアリマシタガ、是モ只今武田君ガ申述ベマシタ通りデアリマス、政府ハ既ニ案ヲ持テ居ルト云フコトデアリマスカラ、此點ハ吾々ハ心配致サナイ、併シ鐵鐵關稅ヲ此際引上ゲテ大衆ニ多少ノ不利益ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ看過スコトノ出來ナイコトデアリマス、政府ノ示サレテ居リマス内地ノ生産費及印度銑ノ沖著値段、斯ウ云フモノニ對シマシテモ、今日爲替ガ始終動イテ居ルノデアリマスカラ、私共ハドウモ捉ヘ所ガナイノデアリマスケレドモ、武田君ガ世界ノ

大勢ヲ說イテ此演說ニナリマシタ通りノ事情デアリマシテ、此際此時ニ於キマシテ、我が國策ヲ樹立スル上カラ申シマスレバ、是モ承認スルノ已ムヲ得ナイノデハナイカト思ハレル、併ナガラ諸君ノ御承知ノ通り、世間ニ於キマシテハ近頃資本家ト政黨トガ荷合妥協シテ居ルト云フヤウナ意見ガアル、又小池君カラモ只今サウ云フヤウナ事ヲ聞イテ居リマス、斯ウ云フ際デアリマスノデ、私共モ其點ヲ心配致シ、過日關稅ノ委員會ニ於キマシテモ商工大臣ニ特ニ其點ヲ伺フタノデアリマス、即チ此案ハ政友會ノ内閣當時ニ出發シテ居リマセウガ、造リ上ゲマシタノハ中島商工大臣デアル、サウシテ之ヲ贊成ヲ致シテ法律案ニスルノガ吾々デアル、政友會デアリ、民政黨デアル、此政友會、民政黨ガ財閥ノ走狗トナッテ居ルト云フヤウナコトヲ言ハレルノハ、アナタノヤウナ政黨ニ關係ノナイ人ガノコト出テ來テ、サウシテ吾々ニソレヲ押付ケルト云フコトハ、ドウモ一向友達甲斐モナイデヤナイカト云フヤウナ愚痴マデモ零シタヤウナ譯デアリマスガ、大臣ハイヤ決シテサウデナイ、自分モ長ク財界ニ居テ其實情モ能ク知ッテ居ル、決シテ自分モ財閥ノ走狗デハナイ、自分トシテソナ事ヲ認メル譯デヤナイ、全然サウ云フコトハ無イノデアル、誠心誠意ヲ以テ此鐵工業ノ樹立ヲシテ行カナケレバナラヌト思ッテ居ル、自分モ長ク合理局ニモ居ッテ、多少ハ學識、經驗、知識ヲ持ッテ居ル積リデアアル、其故ニ行政官トシテ今日ノ地位ニ立ッタノデアルカラ、此機會ニ於テ積年ノ自分ノ抱負ヲ實行シテ見タイト思フ、斯ウ云フ熱意ノアル御話デアリマシタノデ、ソレデ私共モ始メテ安心ヲシテ、

先ヅ此儘贊成シヨウカト云フヤウナ今日ノ空氣ニナッテ居ルノデアリマス、小池君ハ御見エニナラヌヤウデアリマスガ、ドウカ其點ハ能ク御諒承ヲ願ヒタイト思フ次第デアリマス、尙ホ木材關稅、其他色々品目ニ互リマシテノ意見モ澤山アリマスガ、委員長ノ御報告モ十分デアリマシタシ、又武田君ノ御演說モ大分長ク、或ハ無產黨ノ反對意見ノ中ニモ盡サレタ點モアルヤウナ譯デアリマスカラ、私ハ以上ノ理由ヲ述ベマシテ、民政黨ノ贊成ノ意見ヲ代表シテ議場ニ御紹介申上ゲ、且ツ最後ニ臨ミマシテ中島商工大臣ニ特ニ此點ヲ御願致シテ置キタイト思フ、ソレハ全ク此鐵關稅ノ問題ハ天下注視ノ的トナッテ居ル、正ニ是ハナッテ居ル、故ニ先程ノ委員會ニ於キマシテノ御聲明、必ラズ之ヲ整理合同ニ導クト云フ此事ハ、アナタノ洵ニ重厚ナル御人格カラ出發シテモ、亦非常特別内閣デアル此内閣ノ使命カラ考ヘテモ、ドウシテモ之ヲ次ノ議會ニ此處デ御目ニ懸ル時マデニハ、少クトモ或ル形ニ於テ議場ニ示サレルト云フコトガ、アナタガ吾々政黨人ニ對シ、吾々衆議院ニ對シテ責任ヲ持ッ所以デアルト私ハ信ズル、故ニ此點ハ諄イヤウデアリマスガ、念ヲ押シテ御願致シテ置キマシテ、之ヲ以テ贊成演說ヲ終ル次第デアリマス

○議長(秋田清君) 討論ハ終局致シマシタ、先ヅ關稅定率法中改正法律案、輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○議長(秋田清君) 別ニ御異議モアリマセヌカラ兩案トモ委員長報告通り決シマシタ、是ニテ兩案ノ第二讀會ヲ終リマシタ

○上田孝吉君 直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

關稅定率法中改正法律案 第三讀會 輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案 第三讀會

○議長(秋田清君) 採決致シマス、兩案ニ贊成ノ諸君ハ起立

○議長(秋田清君) 起立者多數、仍テ兩案共可決確定致シマシタ(拍手)次ニ遠洋漁業獎勵法中改正法律案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、
本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○上田孝吉君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開
キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長ノ報告通り
可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議
アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、
仍テ直チニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議
題ト致シマス

遠洋漁業獎勵法中改正法律案

第二讀會(確定議)

○議長(秋田清君) 別ニ御發議モアリマセ
ヌ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可
決シタルコトヲ宣告致シマス

○上田孝吉君 異ニ委員付託トナリタル日
程第二十六ノ建議案ハ、清瀬一郎君提出衆
議院議員選舉法中改正法律案外六件ノ委員
ニ併セ付託スルコトニ改メラレンコトヲ望
ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議
アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、
仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○原惣兵衛君 只今議席ニ配付セラレマシ
タル政府提出造幣局資金拂出ニ關スル法律
案ハ、今般ノ事變ニ依リ支那各地ニ在住セ
ル邦人ニシテ損害ヲ蒙リ、現ニ何レモ極度
ノ窮迫ニ陥リ、事態靜觀ヲ許サザルモノガ
アルノデアリマス、仍テ此際議事日程ヲ變

更スルノ緊急動議ヲ提出シ、直チニ本案ヲ
上程シ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス
○議長(秋田清君) 原君ノ動議ニ御異議ア
リマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、
仍テ日程ハ變更セラレマシタ、即チ造幣局
資金拂出ニ關スル法律案ヲ議題ト致シマス

造幣局資金拂出ニ關スル法律案(政府
提出)
第一讀會(確定議)

政府ハ造幣局資金トシテ保有スル銀地金
ノ内五萬貫ヲ限り當該資金ヨリ之ヲ拂出
スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ拂出シタル銀地金ハ支
那在留邦人ノ事業復興資金トシテ貸付ク
ルコトヲ得
第一項ノ規定ニ依リ拂出シタル銀地金ハ
拂出シノ日ヨリ五年以内ニ一般會計ノ負
擔ニ於テ之ヲ補填スベシ

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(秋田清君) 本案ニ付テハ政府ヨリ
議院法第二十七條但書及第二十八條但書ノ
要求ガアリマス、仍テ本案ノ讀會竝ニ委員
付託ヲ省略スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、
仍テ造幣局資金拂出ニ關スル法律案提案ノ
趣旨辯明ヲ許シマス——瀧外務政務次官

〔政府委員瀧正雄君登壇〕
○政府委員(瀧正雄君) 造幣局資金拂出ニ
關スル法律案提出ノ理由ヲ説明致シマス
支那ニ在住スル邦人ハ昨年來ノ事變ノ影響

ニ依リマシテ、事業ノ經營ガ甚シク困難ニ
ナリ、又不能ニ陥リ、何レモ極度ノ窮迫ニ
瀕シテ居リマス、之ヲ此儘ニ放置シテ置キ
マシタナラバ、多年刻苦精勵シマシタ結
果、サウシテ漸ク築上ゲマシタ邦人ノ經濟
的地歩ガ破壊セラル、ノ虞レノ大ナルモノ
ガアリマス、仍テ政府ハ造幣局資金ト致シ
マシテ保有致シテ居リマス所ノ銀ノ地金
五萬貫、時價約五百萬圓ヲ拂出シマシテ、
之ヲ前述ノ在支邦人事業ノ復興ノ爲ニ貸出
シヲ致スコトガ適當ト認メマシテ、本法律
案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス
何卒速ニ御審議ノ上、御協賛アラント
ヲ御願スル次第デゴザイマス(拍手)

○議長(秋田清君) 本案ニ對シテハ質疑ノ
通告モアリマセヌ、討論ノ通告モアリマセ
ヌ、仍テ直チニ採決ヲ致シマス、本案ニ贊
成ノ諸君ハ起立

〔贊成者起立〕

○議長(秋田清君) 起立總員、仍テ本案ハ
全會一致可決致シマシタ——日程第二十八
乃至三十一ハ便宜上一括議題ト爲スニ御異
議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、
仍テ日程第二十八、官公學獨立經營ニ關ス
ル建議案、日程第二十九、養蠶業組合ニ對
シ國庫助成金交付ニ關スル建議案、日程第
三十、蠶價安定補償法制定ニ關スル建議案、
日程第三十一、養蠶應急資金償還期限延期
ニ關スル建議案、右ヲ一括シテ議題ニ供シ
マス——提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス

第二十八 官公學獨立經營ニ關スル建
議案(加藤知正君外二名提出)

第二十九 養蠶業組合ニ對シ國庫助成
金交付ニ關スル建議案(加藤知正君
外二名提出)

第三十 蠶價安定補償法制定ニ關スル
建議案(加藤知正君外三名提出)

第三十一 養蠶應急資金償還期限延期
ニ關スル建議案(加藤知正君外一名
提出)

官公學獨立經營ニ關スル建議案

官公學獨立經營ニ關スル建議
小學校其ノ他特種ノ學校ヲ除キテハ被教
育者ヲシテ當該學校ノ經費ヲ負擔セシム
ルヲ原則トシ官公立諸學校ヲシテ獨立經
營ノ方針ニ據ラシメ私學ト同シク學校自
體ノ收入ヲ以テ其ノ經費ヲ支辨セシメ地
方ノ狀況其ノ他特別ノ理由アル場合ニ限
リ當分ノ中若干ノ補助ヲ與フルコトトシ
之ニ依テ國民負擔ノ輕減ヲ圖ルト同時ニ
大ニ私學ノ振興ヲ助成シ兼ネテ教育ノ機
會均等ヲ實現シ以テ教育ノ改善振興ヲ企
圖セラレムコトヲ望ム

右建議ス

養蠶業組合ニ對シ國庫助成金交付ニ關
スル建議案

養蠶業組合ニ對シ國庫助成金交付ニ
關スル建議

蠶絲業組合法實施ニ伴ヒ蠶ニ養蠶實行組
合並各級養蠶業組合聯合會ノ成立ヲ見タ
リト雖之カ發達振興ヲ圖ルニハ技術員ノ
設置ニ俟タサルヘカラス然ルニ現今ノ如
ク蠶價ノ慘落ニ伴フ養蠶業者ノ經濟狀態
ハ是等各級組合ノ必須機關タル各般ノ事
業並技術員ノ設置ニ頗ル困難ヲ感シツツ
アルノ現況ナリ斯クテハ折角ノ組合組織
モ豫期ノ活動ハ到底望ミ得ヘカラサル結

果トナルヲ以テ政府ハ之ニ對シ相當ノ助成金ヲ交付シ以テ斯業ノ振興ヲ圖ラレムコトヲ望ム

下谷次君 ○山下谷次君 簡單デゴザイマスカラ、自席ヲ說明致スコトノ御許シヲ願ヒマス

團體ガ組織セラレタノデアリマス、就中養蠶業ニ關係致ス所ノ組合ヲ見マスルト云フト、府縣養蠶業組合聯合會ハ三十五府縣ニ互リ、郡市養蠶業組合ハ四百四十七ニ達シテ居リマス、而シテ養蠶實行組合ノ組織數ハ、今ヤ二万五千三百五十七ノ多キヲ算シテ居ルノデゴザイマス、若シ夫レ是等ノ組合ガ大活動ヲ致シタラバ、米國財界ノ不況何カアラン、人造絹絲ノ發達亦惧ルニ足ラズト申上ゲタイノデアリマス、併シ遺憾ナガラ是等ノ組合ガ未ダ意ノ如ク活動スルコトガ出來ナイト云フヤウナ狀態ニ在ルノデアリマス、之ニハ種々ノ原因モアリマスケレドモ大抵ノ組合ニ其中心人物トナテ働ク者ガ居ナイト云フコトガ最大ノ原因ヲ成シテ居ルノデアリマス、所ガ其中心人物ヲ得ルト云フコトガ中々容易デナイノデアリマス、之ヲ以テ其中心人物ニ當ルベキ所ノ技術者ヲ各組合ニ入レ、一面ニハ技術上ノ指導ヲナサシメ、他面ニハ組合統制ノ任ニ當ラシムルト云フコトガ一舉兩得デアルノデアリマシテ、此技術者ニ依テ組合ナルモノガ立派ニ活キテ働クコトガ出來ルト云フコトハ、是迄ノ實踐ニ徴シテモ明ナル所デアリマス、故ニ吾々ハ此各種ノ組合ガ組織セラル、ト同時ニ、其組合ニ技術者ヲ入レルト云フコトガ今日ノ急務デアルト信ズルノデアリマス、併ナガラ残念ナガラ昭和五年以來絲價ハ慘落ニ亞グニ慘落ヲ以テシ、繭價ハ暴落ニ亞グニ暴落ヲ以テ致シマスルノデ、養蠶業者ノ疲弊困憊ハ殆ド其極ニ達シ、當業者自身ノ力ヲ以テ其組合ニ技術者ヲ入レルト云フコトガ、思ヒナガラモ爲シ得ヌ組合ガ實ニ多數ヲ占メテ居ルノデゴザイマス、故ニ政府ハ蠶絲業組合制

繭價安定補償法制定ニ關スル建議案

繭價安定補償法制定ニ關スル建議案

繭絲業カ我カ國民經濟上將又國際貸借上如何ニ重要ナル使命ヲ有スルヤハ敢テ贅言ヲ要セサル所ニシテ繭絲價格ノ維持安定ヲ計ルハ獨リ國內產業ノ發達上必要ナルノミナラス海外機業家ノ等シク要望スル所ニシテ喫緊ノ問題ナリ

○山下谷次君 明治五年ニ教育制度ガ布カレマシテ以來、官民共ノ盡力ニ依リマシテ教育ガ非常ニ盛ニナリマシテ、ドチラカト申シマスト盛ニナリ過ギタ位デアリマス、殊ニ私學ノ發達ガ甚シイウデアリマスガ、此時ニ當リマシテ財政困難ノ際ニ官學及公學ノ一部ヲ私學ニ移スト云フコトハ、最モ時宜ヲ得タモノデアルト思フ、尙且ツドノ内閣ニ於キマシテモ、教育ノ根本改善ヲ唱ヘマシタケレドモ、未ダ會テ實行セラレタコトハナイノデアリマス、私共ハ此際所謂官公學ヲ私營ニ移スト云フコトハ總テノ問題ヲ解決スル所ノ捷徑デアルト思フノデアリマス、ドウカ滿場ノ御同意ヲ得マシテ、此問題ニ御賛成アラントコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス

第二ニ於キマシテハ繭價安定補償法制定ニ關スル建議ニ付キ其趣旨ヲ辯明致シタイト存ズル次第デアリマス、諸君、米作ト養蠶業トハ農業經濟上ノ二大體系ヲナスノデゴザイマス、併ナガラ米ハ其全產額ノ五割ヲ販賣スルニ過ギヌノデゴザイマスルガ、繭ハ其生產額ノ全部ヲ販賣スルノデゴザイマシテ、農家ノ現金收入ノ根幹ヲナスト共ニ、我國貿易品ノ大宗タル生絲工業ノ原料品トシテ重要ノ地位ニ在ルノデアリマス、然ルニ米ニ對シマシテハ米穀法ナルモノガアリマシテ、政府ハ多額ノ資金ヲ投ジテ、以テ米ノ量ト價格ノ調節ヲ致シマシテ、農家ノ生活ニ安定ヲ與ヘルベク努メテ居ルノデゴザイマスルガ、繭ニ對シマシテハ何等施設ノ見ルベキモノガゴザイマセヌノデ、繭價ノ暴落ハ其儘ニ放任セラレテ居ルヤウナ狀態デアルノデゴザイマス、故ニ養蠶業者ハ非常ニ此點ニ付テ困テ居ルノデゴザイマスルカラ、莫クハ政府ハ米ニ於ケル所ノ米穀法ノ如ク、繭ニ對シマシテモ一ツノ繭價補償法ト云フヤウナモノヲ制定セラレマシテ、一日モ速ニ養蠶業者ガ安心シテ其業ニ從事シ得ルヤウニ仕向ケテ戴キタイト云フノガ、本建議案ノ趣旨デゴザイマス

養蠶應急資金償還期限延期ニ關スル建議案

養蠶應急資金償還期限延期ニ關スル建議案

生絲貿易開始以來未曾有ノ繭絲價慘落ニ伴フ養蠶業者ノ窮狀實ニ名狀スヘカラサルモノアリ爲ニ養蠶業者カ義ニ政府ヨリ融通ヲ仰キタル養蠶應急資金ノ償還ハ實ニ容易ナラサル狀態ナルヲ以テ政府ニ於テハ此ノ際ニ力償還期限ノ延期ニ對シ特別ノ取計ヒアラムコトヲ望ム

○議長(秋田清君) 日程第二十九乃至第三十一、提出者加藤知正君

更ニ第三ニ於キマシテハ養蠶應急資金償還期限延期ニ付テノ建議案デゴザイマス、諸君、去ル大正十三年以來養蠶業者ニ對シテ政府ハ種々ノ名目ノ下ニ低利資金ヲ出シテ居ルノデアアルガ、其額決シテ少クナイノデ

右建議ス

右建議ス

養蠶應急資金償還期限延期ニ關スル建議案

養蠶應急資金償還期限延期ニ關スル建議案

養蠶應急資金償還期限延期ニ關スル建議案

養蠶應急資金償還期限延期ニ關スル建議案

養蠶應急資金償還期限延期ニ關スル建議案

養蠶應急資金償還期限延期ニ關スル建議案

養蠶應急資金償還期限延期ニ關スル建議案

養蠶應急資金償還期限延期ニ關スル建議案

養蠶應急資金償還期限延期ニ關スル建議案

養蠶應急資金償還期限延期ニ關スル建議案

養蠶應急資金償還期限延期ニ關スル建議案

養蠶應急資金償還期限延期ニ關スル建議案

養蠶應急資金償還期限延期ニ關スル建議案

養蠶應急資金償還期限延期ニ關スル建議案

養蠶應急資金償還期限延期ニ關スル建議案

○議長(秋田清君) 日程第二十八提出者山

基キマシテ、蠶絲業ニ關係スル所ノ各種ノ

ゴザイマス、即チ霜害救済資金デアルトカ、桑樹旱害資金デアルトカ、或ハ養蠶應

急資金ト云フヤウナ名目ノ下ニ、政府カラ支出セラル、ゴトニナッテ居ル金額ハ、一億

七千万圓以上ニ達シテ居ルデアリマス、併ナガラ實際今日迄ニ養蠶業者ノ借受ケマ

シタ所ノ金額ハ一億四千万圓餘ニナッテ居ルデアリマス、而シテ其内償還セラレマシ

タ所ノ低利資金ハ漸ク七千七百万圓ニ過ギナイノデゴザイマシテ、今尙ホ六千三百万

圓カラ未償還トナッテ居ルノデゴザイマス、尤モ其償還期限ハ一年、三年、五年、

七年、十年、二十年ト云フヤウナ工合ニナッテハ居リマスケレドモ、其中一箇年償還

期限ノモノガ最モ多額ヲ占メ、而モ償還期限ニ迫ッテ居ルモノモ多イノデアリマスガ、

先刻申上ゲタヤウナ状態デ、今ヤ養蠶業者ハ是ガ償還ニ付テハ非常ニ困ッテ居ルノデ

ゴザイマス、即チ藪安ノ爲ニ當ニ子供ノ教育ガ出来ナイバカリデハナク、公租、公課

サヘモ納メ難ルト云フヤウナ次第、中ニハ飢餓線上ニ迷ウテ居ル者モ尠カラザルノデ

ゴザイマシテ、是等ノ低利資金ノ償還期ガ来マシテモ、殆ド其償還能力ガナイト申

シマシテモ、決シテ過言デナイヤウナ状態ノ者ガ昨今殊ニ多イノデゴザイマスカラ、

此際政府ハ特別ノ取計ヲ以テ、其償還期限ノ延長ヲ致サレタイト云フノガ本建議案ノ趣

旨デアアルノデゴザイマス、冀クハ滿場諸君ノ御賛成ヲ戴キタイノデゴザイマス(拍手)

○議長(秋田清君) 各案トモ質疑ノ通告ハアリマセヌ

○上田孝吉君 日程第二十八ハ議長指名九名ノ委員ニ、日程第二十九乃至第三十一ノ

合法案委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次同ノ議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ

是ニテ散會致シマス
午後四時二十一分散會

衆議院議事速記第六號中正誤

頁	段	行	誤	正
七七	二	四一	高橋熊次郎君	青山 憲三君
九一	四	一三	アリマセヌカ	アリマセヌ
九四	四	二五	仍テ相チニ	仍テ直チニ
九五	三	一五	只今ニ相成リ	只今上程ニ相成リ
九五	四	三	清水ノ諸君	清水、金光ノ諸君
九五	四	三四	所ノ地ハ	所ノ餘地ハ
九七	一	八	第二讀會ハ	第二讀會ヲ

官報號外

昭和七年六月十一日

衆議院議事速記錄第七號

一一一